

関西医科大学 広報



セミナー会場で挨拶と基調説明を行う木梨学長

大阪・関西万博2025へ出展。
先端医療を世界へ発信。

Vol.70

CONTENTS

トピックス：大阪・関西万博出展

P.1

トピックス：光免疫療法臨床研究開始記者会見

P.2

トピックス：メディカルデータサイエンス講座開設

P.3

大学：3学部合同新入生合宿研修

P.9

大学：令和7年度科学研究費助成事業交付内定者一覧他

P.16

病院：淀川水防・大阪府地域防災総合演習

P.30

大阪・関西万博出展

5月18日(日) 11時～17時、大阪・関西万博(大阪市此花区)フューチャーライフゾーン「ギャラリーWEST」において、枚方市との連携・協力による「大阪ウィーク(春)」の一環として、本学の未来型先進医療研究への取り組みを紹介するブースを出展しました。

11時からオープンした屋内展示室2では、光免疫療法、感覚創薬、ゲノム個別化医療、iPS再生医療、国際がん新薬開発に関する研究成果が展示されました。

13時からは屋内展示室1において、子ども向け医療体験セミナー「未来医療を支えるのは君だ」が開かれ、参加した子どもたちが細胞観察、縫合体験、VRによるロボット支援手術体験などに取り組みました。

同じく13時からは木梨達雄学長による挨拶と基調説明に続き、医学部呼吸器腫瘍内科学講座倉田宝保教授の司会により、6名の講師によるセミナーが行われました。



質問に応じる木梨学長と登壇者



キッズセミナー「VRによるロボット支援手術体験」の様子

●セミナープログラム

「光でがんを治す。～光免疫療法・基礎研究～」

附属光免疫医学研究所 花岡 宏史 副所長

「光でがんを治す。～光免疫療法・臨床研究～」

附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 藤澤 琢郎 病院准教授

「匂いで体を守る。～感覚創薬による人工冬眠・生命保護医療の世界初の実現～」

附属生命医学研究所 小早川 高 研究所教授

「病気のリスク・治療法を正しく知る。～ゲノム個別化医療～」

附属生命医学研究所 日笠 幸一郎 所長

「失った組織を取り戻す。～iPS再生医療～」

大学院医学研究科 服部 文幸 研究教授

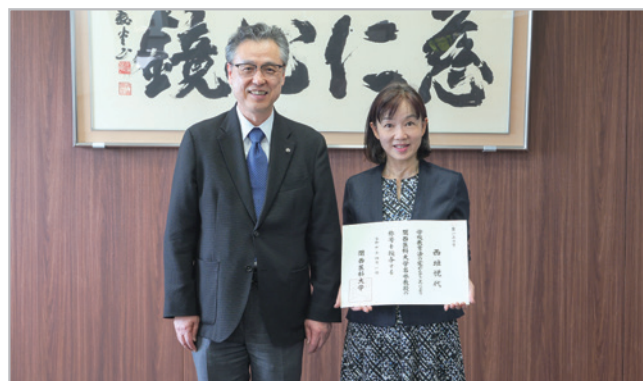
「より多くのがん患者をより早く救う。～世界初の新薬治験実施から世界をリード～」

附属病院国際がん新薬開発センター・新薬開発科 清水 俊雄 センター教授

名誉教授称号授与式

本学名誉教授称号授与規程の定めるところにより、教授会の議を経て、医学部心理学教室西垣悦代前教授へ、名誉教授の称号が授与されることとなりました。

6月18日(水)に枚方キャンパス医学部棟13階応接室において、名誉教授称号授与式が執り行われ、木梨達雄学長から名誉教授称号が西垣前教授に授与されました。



木梨学長(左)、西垣名誉教授(右)

光免疫療法臨床研究開始記者会見

本学附属光免疫医学研究所と株式会社島津製作所が、光免疫療法における世界初の臨床研究を開始することに伴い、4月15日(火)14時から枚方キャンパス医学部棟加多乃講堂において、記者会見が実施されました。

会見は、附属光免疫医学研究所花岡宏史副所長の司会のもと進行。山下敏夫理事長、木梨達雄学長、医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座八木正夫教授による挨拶の後、島津製作所スタートアップインキュベーションセンター小林裕センター長、附属光免疫医学研究所小林久隆所長が研究の趣旨を説明しました。質疑応答では医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座藤澤琢郎講師他の出席者が質問に応じました。

今回の臨床研究は光免疫療法における術前・術中・術後の治療経過を、画像診断および尿・血中の生体マーカー

を用いてモニタリングすることで腫瘍の位置を特定し、治療効果とともに治療精度の向上が期待されるものです。

記者会見終了後に実施された附属光免疫医学研究所のラボ案内では、小林所長による実際に使用する検査装置などの説明が行われました。



臨床研究の趣旨説明を行う小林所長

ヴェネツィア・カフォスカリ大学学術ハブ開設

5月28日(水)、ヴェネツィア・カフォスカリ大学・関西医科大学学術ハブが関医アネックス第一ビル2階に開設され、開所式が行われました。

また、これに先立ち、本学とヴェネツィア・カフォスカリ大学(イタリア)との間で「共同学術ハブの管理運営に関する覚書」が、本学とローマ大学との間で「学術交流協定」が調印されました。

関医タワー12階で行われた調印式には、木梨達雄学長、医工学センタージュセッペ・ペッツォッティセンター長・学長特命教授、国際化推進センター友田幸一センター長、フィリッポ・マナーラ在大使イタリア総領事、ヴェネツィア・カフォスカリ大学ティツィアーナ・リビエッロ学長、ローマ・ラ・サピエンツァ大学アントネッラ・ポリマーニ学長他が出席。ペッツォッティセンター長の司会の下で式が進行し、木梨学長、マナーラ在大使

イタリア総領事、ヴェネツィア・カフォスカリ大学リビエッロ学長、ローマ・ラ・サピエンツァ大学ポリマーニ学長の挨拶に続いて調印が行われました。

その後関医アネックス第一ビルに場所を移した開所式ではテープカットが行われ、参加者が新たに開設されたハブを見学しました。



テープカットの様子

イタリア総領事およびラツィオ州知事らが来訪

5月21日(水)、イタリアのフィリッポ・マナーラ在大使イタリア総領事およびラツィオ州フランチェスコ・ロッカ知事をはじめとする州関係者が本学を訪問しました。ラツィオ州はイタリア中部に位置する、首都ローマを擁する地理的、政治的、文化的中心地です。

大阪・関西万博イタリア館ラツィオ州ウィーク開催に合わせ、ラツィオ州と本学の高等教育や生命科学分野における交流を目的に会談が実施されました。本学からは木梨達雄学長、医工学センタージュセッペ・ペッツォッティセンター長・学長特命教授、国際化推進センター友田幸一センター長、医学部iPS・幹細胞再生医学講座人見浩史教授が出席。枚方市の伏見隆市長も同席し、情報

交換が行われました。

会談後、一行は関医アネックス第一ビルの医工学センターに移動し、センター長であるペッツォッティ学長特命教授の説明の下、センター内に設置された機器を見学しました。



関係者集合写真

メディカルデータサイエンス講座 開設

令和7年7月1日付で医学部メディカルデータサイエンス講座が開設されました。

近年、生成AIなどの技術や行政・企業などのDX化の進展により、デジタルに関する基礎的な知識に加え、文系・理系を問わず社会での活用を見据えた実践力を備えた人材への需要が高まっています。本学においても、デジタル関連教育体制を構築すべく、基礎社会系講座として当講座を設置しました。

メディカルデータサイエンスは、医療レセプトデータを始めとするヘルスビッグデータの分析により、臨床研究を行う新しい研究分野です。患者の転退院や転居、病院・クリニックの違いなどを乗り越えて分析できる点が最大の強みです。対象となる分野には、臨床医学のほか、訪問看護やリハビリなどを含みます。

医療データベース分析を、各種の臨床研究や行政研究など多岐にわたる分野に応用し、社会と大学への貢献を目指します。

就任挨拶

医学部メディカルデータサイエンス講座主任教授 野田 龍也



令和7年7月1日付で、メディカルデータサイエンス講座主任教授を拝命いたしました。このたびの講座創設に際してご尽力を賜った皆様に、心より感謝申し上げます。私は、全国レセプトデータ(NDB)などの大規模医療データを用い、インフルエンザやHIVなどの感染症、がん、各種の指定難病、アレルギー疾患、周産期疾患、透析医療と

いったさまざまな分野の臨床研究に従事・協力してまいりました。ありがたいことに、研究成果のいくつかは、国の診療報酬制度やCOVID-19対策などに実装されました。

データベースを用いた医学研究は、最大で数十テラバイト規模に及ぶビッグデータを高性能マシンで分析し、疾患の罹患率や予後、治療効果、患者行動、医療費などの問題に取り組む、新しい研究領域です。従来の疾患登録や社会調査のほうが優れる点も多くありますが、全国医療データのように1億2千万人規模を分析対象とできる点(「n=1億人」の研究)は、他に類を見ない強みと言えます。

当講座は、研究を通じ、データサイエンスの力で医学や社会に貢献することをめざしています。同時に、学内の先生方が各々の研究テーマに即して当講座のデータベースをご利用いただき、論文を出版できるような環境整備にも努めてまいります。医療データを活用した研究に興味を持たれた先生は、どうぞいつでもご相談ください。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

略歴

平成13年3月	九州大学医学部医学科 卒業
平成13年5月	九州大学医学部附属病院 研修医(第三内科・皮膚科・放射線科研修)
平成14年5月	福岡通信病院 内科研修医
平成15年4月	九州大学大学院 臓器機能医学専攻(第三内科)博士課程入学
平成19年4月	浜松医科大学医学部健康社会医学講座 助教
平成26年4月	奈良県立医科大学医学部健康政策医学講座(現公衆衛生学講座) 講師
令和2年1月	奈良県立医科大学医学部公衆衛生学講座 准教授
令和7年7月	関西医科大学医学部メディカルデータサイエンス講座 主任教授

医学部脳神経外科学講座(総合医療センター) 担当診療教授 吉村 晋一



令和7年5月1日付で、関西医科大学医学部脳神経外科学講座(総合医療センター)担当診療教授を拝命いたしました。

平成4年に関西医科大学を卒業後、滝井の附属病院にて初期研修を開始し、その後は関連病院で臨床経験を重ねてまいりました。さらに、スイス・チューリッヒ大学にて顕微鏡手術のトレーニングを受け、多くの開

頭手術に参加するとともに、神経放射線科での研修を受けました。帰国後は本学において、臨床と教育の両面に力を注いでおります。

臨床では脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、水頭症などの外科治療に加え、頭痛や認知症診療など幅広い診療を行ってまいりました。特に専門の脳血管障害では、顕微鏡手術と血管内治療の両方からアプローチする診療に取り組み、部分血栓化大型動脈瘤、成人もやもや病、硬膜動静脈瘻などの希少疾患も積極的に診療しております。教育面では、多くの学生講義を担当するとともに、クリニカル・クラークシップにおける臨床実習責任

者やクラスアドバイザーに従事し、医学共用試験であるCBT・OSCEにも携わってまいりました。今後はこれまでの経験を活かし、地域の先生方との連携をさらに深め、患者さんにとって最適な医療の提供に努めてまいります。また学生教育や若手医師の育成にも一層力を入れていく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

略歴

平成4年3月	関西医科大学 卒業
平成4年6月	関西医科大学 脳神経外科学 入局
平成9年3月	関西医科大学大学院 博士課程 修了
平成9年4月	関西医科大学 脳神経外科学講座 助手
平成11年2月	新宮市立市民病院 脳神経外科 医長
平成14年1月	スイス・チューリッヒ大学 脳神経外科 クリニカルフェロー
平成19年4月	関西医科大学 脳神経外科学講座 講師
平成24年4月	関西医科大学 脳神経外科学講座 准教授
平成26年4月	関西医科大学附属病院 脳神経外科 病院教授
令和4年4月	関西医科大学附属病院 脳神経外科 脳血管外科 科長
令和7年4月	関西医科大学総合医療センター 脳神経外科 部長
令和7年5月	関西医科大学 脳神経外科学講座(総合医療センター)担当診療教授

令和6年度事業報告

本学の令和6年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。

今後は、附属病院別館建設、総合医療センター西館建設などを踏まえ、さらなる教育・研究・診療の充実をめざします。

法人

● 附属病院別館建設計画

設計内容の変更作業を確定し、建設業者を決定の上、令和7年3月、建設工事に着工した。

● 総合医療センター西館建設計画

建物用途に関する基本構想の取りまとめが完了し、設計・施工業者の選定作業に着手した。

● スマート病院構想

各附属病院における新しいIT技術やAIの導入による抜本的な病院機能改革について検討を進めた。

● 医療経営強化

附属病院では46床の増床及び手術室3室の増室を行い、全面的に稼働させた。

香里病院と総合医療センターにおいて糖尿病センターと予防医療センターを開設した。

教育

■ 医学部・医学研究科

● 新医学教育改革2023

新カリキュラム実施、電子教科書導入、新たな自習室の設置及びメンター制度の拡充に取り組んだ。また、国家試験対策を中心に学長特別補佐の任用を決定した。

● トリノ工科大学とのダブルディグリー

トリノ工科大学とのダブルディグリープログラムを構築し、入学定員1名を確保した。

■ 看護学部・看護学研究科

● 分野別認証評価の受審

日本看護学教育評価機構の分野別評価を受審し、基準に適合の認定を受けた。

● 国家試験合格率

「看護師」、「保健師」、「助産師」の国家試験の現役合格率100%を達成した。

■ リハビリテーション学部・生涯健康科学研究科

● 完成年度を迎え、初の卒業生を輩出した。

● 生涯健康科学研究科の設置認可を受けた。

研究

● 医工学センターを設置した。

● 科研費獲得額

科研費の採択件数は246件、採択額は4億円を超過した。

診療

■ 附属病院

● 医療機器の更新

MRI装置、前立腺生検用フュージョンエコー、タイムラプス付インキュベーター、OCT付手術顕微鏡の導入等、大学病院としての機能の維持向上に努めた。

● 救急医療の充実

「断らない病院」の実現を掲げ、救急患者の受入れに努め、救急搬送は年間4,800件を超え、前年度を上回る水準を達成した。

■ 総合医療センター

● 収支予算の達成

様々な施策を講じ、収支予算を達成した。

■ 香里病院

● 救急医療体制の構築

救急医療体制を構築し、救急搬送件数は目標を上回る月105件を達成した。

■ くずは病院

● 手術室の増室

2室に増室した手術室の活用を図り、手術件数は前年度比11%増となった。

■ 天満橋総合クリニック

● 収支予算の達成

固定費の見直しによる支出削減を行った結果、収支予算を達成した。

■ くずは駅中健康・健診センター

● センター独自検診コースの開始

既存の人間ドックに尿の μ RNAによるがんリスク検査を組み合わせた独自の人間ドックを開始した。

以 上

令和6年度・令和7年度の内部監査

内部監査室長 稲垣千代子

令和6年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告及び令和7年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。

本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

1、令和6年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

①年次監査

- 1)「公的研究費の管理状況(令和5年度対象)」
- 2)「災害対応体制」
- 3)「感染症対策」

2、令和7年度内部監査計画(年次監査)

- 1)監査項目：「公的研究費の管理状況(令和6年度対象)」
監査対象部門：研究部研究課及び関連部門
監査日程：令和7年6月～7月
選定理由：「公的研究費の管理・監査体制に関する規程」第36条に定める内部監査

- 2)監査項目：「教育プログラム(看護学部、リハビリテーション学部)」

監査対象部門：看護学部、リハビリテーション学部
監査日程：令和7年9月～10月

選定理由：両学部設置完成年度経過時の教育状況点検

- 3)監査項目：「メディカル組織」

監査対象部門：法人内全医療施設

監査日程：令和7年12月～令和8年1月

選定理由：情報共有及び連携による技術及び業務効率向上体制整備状況の点検

以 上

「施設設備整備拡充事業資金」の募集のご案内

令和6年度募金実績報告

昨年度も皆様より温かいご支援を賜りました。
学生の教育・研究活動を充実させる施設設備整備拡充事業に充当させていただきました。
改めて厚く御礼申し上げます。

	件数	金額(円)
同窓生	3	52,050,000
保護者	28	32,310,000
遺贈	1	3,000,000
その他	6	72,000
	38	87,432,000

令和7年度募集要項

募金の目的：関西医科大学施設設備整備拡充事業資金
募集主体：学校法人関西医科大学
募集対象：保護者、同窓会員、本学関連の個人及び法人、その他

所得税が最大 40%減額されます

詳細は募金室ホームページをご覧ください。募金室までお問い合わせください。

なお、この募金の応募は任意です。

関西医科大学法人事務局募金室

〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号

TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344

メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp

HP：https://www.kmu.ac.jp/donation/index.html

令和7年1月から令和7年3月までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。
ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。

本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。



今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	6月13日	業務改善コンテスト (法人・大学部門)
	6月18日	名誉教授称号授与式
大学	4月9日	バーモント大学来訪
	4月10日	看護学部短期留学報告会
	4月15日	光免疫療法臨床研究開始記者会見
	4月19・20日	令和7年度高齢者こころとからだの健康チェック
	4月20日	看護学部オープンキャンパス
	4月21日	スイス・ベルン大学と国際交流協定締結
	4月23日	スイス・ベルン大学の学長団来訪
	4月24・25日	3学部合同新入生合宿研修
	4月27日	リハビリテーション学部オープンキャンパス
	5月2日	4学部合同授業 (4学年・4年次)
	5月7日	イタリア ヴェネツィア・カフォスカリ大学副学長来訪
	5月9日	看護学部避難訓練
	5月15日	第95回解剖体追悼法要、遺骨返還式
	5月18日	大阪・関西万博関西医科大学出展
	5月21日	大阪・関西万博イタリア館 ヘルスケアワークショップ
	5月21日	イタリア総領事およびラツィオ州知事らが来訪
	5月23日	3学部合同授業 (1学年・1年次)
	5月28日	イタリア ヴェネツィア・カフォスカリ大学学術ハブ開所式
	6月5日	校方キャンパス災害 (避難) 訓練
	6月15日	リハビリテーション学部オープンキャンパス
	6月21日	看護学部第1回ホームカミングデー
	6月22日	リハビリテーション学部作業療法学科オープンラボ
	6月23日	スタンフォード大学西野教授講演
	6月25日	第44回関西医大白菊会総会
	6月26日	ルワンダ大使来訪
病院	6月21日	地域医療連携フォーラム
附属病院	5月16日	食道がん患者会「藤見の会」
	6月9日	附属病院消防訓練
総合医療センター	6月24日	沖縄美ら海水族館教育普及プログラム遠隔授業
	4月10日、5月21日、6月25日	ミニ市民健康講座
	5月24日	淀川水防・大阪府地域防災総合演習
香里病院	6月21日	市民健康講座
	5月17日	市民公開講座
くずは病院	4月28日	防犯訓練
卒後臨床研修センター	5月17日	令和8年度採用専門研修プログラム説明会
	5月17日	令和8年度採用医学生対象説明会「研修医と語ろう会」
看護キャリア開発センター	6月26日	第3回リカレントスクール修了生の集い



リハビリテーション学部オープンキャンパス



看護学部避難訓練



イタリア総領事およびラツィオ州知事らが来訪



ルワンダ大使来訪



地域医療連携フォーラム

令和8年度医学部入学試験概要

医

試験実施日程								
	特別枠 学校推薦型 選抜試験 (専願制)	一般枠 学校推薦型 選抜試験 (併願制)	特色 選抜試験 (併願制)	一般選抜試験 (前期)	大学入学 共通テスト ・ 一般選抜試験 併用試験	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (前期)	一般選抜試験 (後期)	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (後期)
募集人員	10名	8名	5名	55名	13名	12名	5名	2名
出願期間 (当日消印有効)	令和7年11月1日(土) } 令和7年11月10日(月)			令和7年12月10日(水) } 令和8年1月15日(木)			令和8年2月1日(日) } 令和8年2月20日(金)	
第1次 試験日	令和7年 11月22日(土)			令和8年 1月31日(土)	令和8年 1月17日(土) 18日(日) 31日(土)	令和8年 1月17日(土) 18日(日)	令和8年 3月7日(土)	令和8年 1月17日(土) 18日(日)
第1次 合格者発表	令和7年 11月26日(水)			令和8年 2月10日(火)	令和8年 2月13日(金)		令和8年 3月13日(金)	
第2次 試験日	令和7年 11月29日(土)			令和8年 2月14日(土)	令和8年 2月21日(土)		令和8年 3月17日(火)	
第2次 合格者発表	令和7年 12月4日(木)			令和8年 2月20日(金)	令和8年 2月27日(金)		令和8年 3月21日(土)	
手続完了 期限	令和7年 12月12日(金)			令和8年 3月6日(金)			令和8年 3月26日(木)	

別途地域枠9名(大阪府4名、静岡県5名)・研究医枠3名を、臨時定員増設置構想中。

令和8年度看護学部入学試験概要

看

試験実施日程							
	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験		
	専願制	併願制	2教科型	3教科型	2教科型	3教科型	5教科型
募集人員	42名		50名		8名		
	36名 指定校制含む	6名	15名	35名	3名	3名	2名
出願期間 (当日消印有効)	令和7年11月1日(土) } 令和7年11月8日(土)		令和7年12月16日(火) } 令和8年1月20日(火)		令和7年12月16日(火) } 令和8年1月16日(金)		令和7年12月16日(火) } 令和8年1月20日(火)
試験日	令和7年11月23日(日・祝)		A日程 令和8年2月6日(金)、 B日程 令和8年2月11日(水・祝)		令和8年1月17日(土)・18日(日)		
合格者発表	令和7年12月2日(火)		令和8年2月21日(土)		令和8年2月21日(土)		
手続完了期限	令和7年12月11日(木)		令和8年3月2日(月)		令和8年3月2日(月)		

令和8年度リハビリテーション学部入学試験概要

リ

試験実施日程								
		総合型選抜試験	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験	
			専願制	併願制	2教科型	3教科型	2教科型	4教科型
募集 人員	理学療法学科	12名	18名 指定校制を含む	8名	4名	14名	2名	2名
	作業療法学科	12名	10名 指定校制を含む	4名	2名	9名	2名	1名
出願期間 (当日消印有効)		令和7年9月16日(火)	令和7年11月1日(土)		令和7年12月16日(火)		令和7年12月16日(火)	
		}	}		}		}	
		令和7年9月26日(金)	令和7年11月8日(土)		令和8年1月20日(火)		令和8年1月20日(火)	
試験日		A日程	令和7年11月23日(日・祝)		令和8年2月6日(金)		令和8年 1月17日(土)・18日(日)	
		令和7年10月11日(土)						
		B日程						
		令和7年10月18日(土)						
合格者発表		令和7年11月1日(土)	令和7年12月2日(火)		令和8年2月18日(水)			
手続完了期限		令和7年11月11日(火)	令和7年12月11日(木)		令和8年3月2日(月)			



令和8年度大学院医学研究科学生募集要項（修士・博士課程）



- 募集人員 医科学専攻修士課程8名・医学専攻博士課程50名
※第一次募集で定員に達した場合は、追加募集は実施いたしません。

■試験概要

	医科学専攻修士課程		医学専攻博士課程	
	第一次募集	追加募集	第一次募集	追加募集
入学願書受付期間	令和7年7月7日(月)～ 令和7年8月1日(金) 【当日消印有効】	令和7年10月14日(火)～ 令和7年11月21日(金) 【当日消印有効】	令和7年10月14日(火)～ 令和7年11月21日(金) 【当日消印有効】	令和7年12月15日(月)～ 令和8年1月23日(金) 【当日消印有効】
試験期日	令和7年 8月16日(土)	令和7年12月6日(土)	令和7年12月6日(土)	令和8年 2月7日(土)
合格発表	令和7年 9月10日(水) 正午	令和8年 1月14日(水) 正午	令和8年1月14日(水) 正午	令和8年2月26日(木) 正午

※出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。
出願書類等、入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(https://www.kmu.ac.jp/juk/fom_graduate/)をご覧ください。

令和8年度大学院看護学研究科学生募集要項（博士前期・博士後期課程）



- 募集人員 看護学専攻博士前期課程20名・看護学専攻博士後期課程5名（夏期冬期合計）
※夏期日程で定員に達した場合は、冬期日程は実施いたしません。

■試験概要

	看護学専攻博士前期課程		看護学専攻博士後期課程	
	夏期	冬期	夏期	冬期
出願期間	令和7年7月25日(金)～ 令和7年8月8日(金) 【必着】	令和7年10月31日(金)～ 令和7年11月14日(金) 【必着】	令和7年7月25日(金)～ 令和7年8月8日(金) 【必着】	令和7年10月31日(金)～ 令和7年11月14日(金) 【必着】
試験期日	令和7年8月24日(日)	令和7年11月30日(日)	令和7年8月24日(日)	令和7年11月30日(日)
合格発表	令和7年8月29日(金) 正午	令和7年12月5日(金) 正午	令和7年8月29日(金) 正午	令和7年12月5日(金) 正午

※出願するコース及び出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。
入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(https://www.kmu.ac.jp/juk/fon_graduate/)をご覧ください。

令和8年度大学院生涯健康科学研究科学生募集要項（修士課程）



- 募集人員 生涯健康科学専攻修士課程8名

■試験概要

出願期間	令和7年8月4日(月)～令和7年9月5日(金)
試験期日	令和7年9月20日(土)
合格発表	令和7年10月8日(水)

※出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。
入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(https://www.kmu.ac.jp/juk/fol_graduate/exam/admin.html)をご覧ください。

第95回解剖体追悼法要・遺骨返還式

5月15日(木) 10時から臨済宗建仁寺派大本山建仁寺(京都市東山区)において第95回解剖体追悼法要が営まれました。関西医大白菊会役員、木梨達雄学長、金子一成副学長・医学部長をはじめとする教職員、本学医学部3学年学生らが参列し、施主代表の木梨学長が追悼の言葉を述べました。続いて僧侶による読経の後、参列者による焼香が行われました。

その後、11時からは同所で遺骨返還式が挙行され、医学の発展に寄与するため篤志によりご献体くださった故人のご遺族の方々へ木梨学長より遺骨の返還が行われました。



追悼の言葉を述べる木梨学長

3 学部合同新入生合宿研修

4月24日(木)・25日(金)、スターゲイトホテル関西エアポート(泉佐野市)において1泊2日の日程で医学部、看護学部、リハビリテーション学部新入生の合宿研修が実施されました。1日目は、医学部学生部谷川昇部長の開講宣言によりスタート。外部講師による講演、教育センター西屋克己センター長による講義の後、3学部合同のグループに分かれてグループワークが行われました。グループワークは、「医療従事者に必要な能力」について意見交換のうえ、代表者がプレゼンテーションを行うもので、学生らは普段とは異なる環境に緊張した様子でしたが、徐々に打ち解けて、最後には活発にコミュニケーションをとる姿が見られました。グループワーク終了後は新入生歓迎会で親睦を深め、1日目は終了しました。2日目は、木梨達雄学長、医学部金子一成学部長、看護学部加藤令子学部長、リハビリテーション学部飯田寛和学部長による講義と外部講師による講演の後、グループワークにおける優秀グループ発表・表彰と川柳表彰が行われ、閉講となりました。

川柳「関西医科大学で過ごす六年間または四年間についての意気込み」表彰

【医学部】	(最優秀賞)	重みある	学びの扉	こじ開ける	小松嵩一郎 さん
	(優秀賞)	桜降る	学び舎への途	医への道	分山瑠璃子 さん
【看護学部】	(最優秀賞)	覚悟する	命の重みと	人生を	大橋 璃央 さん
	(優秀賞)	通学時	自分に厳しく	スマホ伏す	井狩 帆夏 さん
【リハビリテーション学部】					
	(最優秀賞)	限界と	感じてからの	また一歩	山脇 悠 さん
	(優秀賞)	友達を	100人作ると	リハ制覇	伊吹 悠真 さん



谷川学生部長による開講宣言



新入生歓迎会の様子

合同授業（多職種連携教育）

5月2日（金）9時30分から、医学部、看護学部、リハビリテーション学部の4学年（4年次）、摂南大学薬学部6年次生との合同授業が実施されました。枚方キャンパス医学部棟、看護学部棟、牧野キャンパスリハビリテーション学部棟の各講義室の各会場に、医学部128名、看護学部109名、リハビリテーション学部84名、摂南大学薬学部20名、合わせて341名の学生が参加。救急搬送、診察・検査、入院中、退院後のケアの各場面について、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師の専門的視点から議論を行い、チーム医療への理解を深めました。

また、23日（金）9時30分から、各学部棟の講義室において、医学部、看護学部、リハビリテーション学部の1学年（1年次）学生を対象とした合同授業が実施され

ました。終末期の患者さんに対するケアについてカンファレンスを通して、各職種の視点や考え方を共有する機会となりました。



議論をまとめる4学部の学生たち

慈仁会役員・看護学部保護者会役員・リハビリテーション学部保護者会役員について

4月5日（土）入学式終了後、枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールにおいて「令和7年度慈仁会定期総会」が、6月21日（土）11時から枚方キャンパス看護学部棟2階講義室1において「令和7年度関西医科大学看護学部保護者会総会」が、6月7日（土）11時から牧野キャンパス2階ラーニングコモンズにおいて「令和7年度関西医科大学リハビリテーション学部保護者会総会」がそれぞれ開催されました。本年度の各学部保護者会役員は以下の方々です。

慈仁会役員

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| ●委員長 道浦 拓 | ●会計委員 月川 裕恵 | ●常任委員 藤吉 庸雅 | ●常任委員 中村 裕子 |
| ●常任委員 傍島 聡 | ●常任委員 末政 賢幸 | ●委員 中村 佳照 | ●委員 津田 昭 |
| ●委員 田中章太郎 | ●委員 末藤 充男 | ●委員 金城 都博 | ●委員 島野 直人 |
| ●監事 永末 純子 | ●監事 畑 洋 | | |

看護学部保護者会役員

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ●会長 藍原 雅代 | ●理事 上田 万喜 | ●理事 澤邊 恵理 | ●理事 中川 靖子 |
| ●理事 野間 映美 | ●理事 山田 志穂 | ●理事 若林 智子 | ●理事 岡 孝夫 |
| ●理事 川野 育代 | ●会計 角田加依子 | ●監事 青木 美貴 | ●監事 土井 尚 |

リハビリテーション学部保護者会役員

- | | | | |
|------------|-------------|-----------|-----------|
| ●委員長 串田 信彦 | ●委員 眞野 浩 | ●委員 戸谷 貴美 | ●委員 丸本 桂子 |
| ●委員 小林 優子 | ●委員 進藤 篤史 | ●委員 高橋美智子 | ●委員 渡邊 早苗 |
| ●委員 浦添 恵美 | ●会計委員 木原智枝子 | ●監事 河本真由美 | ●監事 百瀬 嘉洋 |

第44回関西医大白菊会総会

6月25日(水) 13時から枚方市総合文化芸術センター1階ひらしんイベントホールにおいて、第44回関西医大白菊会総会が開催されました。本学教職員と篤志により医学教育のための献体を希望する会員ら102名が参加しました。第1部では木梨達雄学長、白菊会藤澤直子会長の挨拶、医学部形成外科学講座覚道奈津子教授による特別講演の後に、行事・会計報告、令和7年度予算審議などが行われました。第2部では、白菊会堂迫千草副会長と堂迫康雄トリオの演奏による「堂迫千草オンステージ」が上演され、会場は大いに盛り上がりました。



木梨学長による挨拶

医

災害（避難）訓練

6月5日(木)枚方キャンパス医学部棟において教職員・医学部(1～4学年)の学生を対象とした災害(避難)訓練が実施されました。当日は南海トラフ巨大地震が発生し、枚方市内は震度6強の強い揺れに見舞われたとの想定で実施。11時25分に訓練の全館放送により法人危機対策本部が設置され、避難指示が出されました。担当職員の下、学生及び教職員が医学部棟1階メインエントランス前に避難し、点呼及び安否確認を行いました。その後、法人事務局員らで水消火器による消火訓練を実施。災害時の対応に対する意識を高めました。

5月9日(金)には、枚方キャンパス看護学部棟において、看護学部学生を対象とした避難訓練が実施されました。この訓練は、学生には事前予告されないブラインド

型で行われ、実際の講義中に流された「地震が発生した」との想定放送に従い、学生たちは身の安全を確保。誘導に従い所定の場所への避難が行われました。



医学部避難訓練で水消火器による消火訓練を行う様子

医 看

短期留学報告会

看護学部では令和7年3月から、アメリカ合衆国ミネソタ州立大学マンケート校での2週間の留学プログラムがスタートしました。初めてとなる今回は選抜を通過した10名の希望者が参加しました。シミュレーション演習をはじめとする看護学部の授業や、ディスカッション、メイヨークリニックの見学などを通し、異文化における看護について視野を広げる機会になります。また、ホストファミリーや現地の学生との交流により語学力を磨くことができます。

4月10日(木) 14時50分からは、枚方キャンパス看護学部棟2階講義室1において、短期留学に参加した学生らによる報告会が開催されました。報告会には、木梨達雄学長、国際化推進センター友田幸一センター長、関西医科大学看護同窓会安田照美会長、看護学部加藤令子学部長をはじめとする多くの教職員・学生が出席しまし

た。学生からは、短期留学中の充実した日々の生活だけでなく、アメリカ合衆国での看護学教育の実際と、現地で学んだからこそ気づくことができた日本の看護の魅力など、多彩な学びが報告されました。



短期留学報告会の様子

看

看護学部ホームカミングデー

6月21日(土) 11時から枚方キャンパス看護学部棟4階討議室において、令和7年度第1回ホームカミングデーが開催されました。当日は令和6年度の卒業生18名と、教職員らが参加。久しぶりに来学した卒業生たちは、看護師や保健師、助産師として働く中でのやりがいや苦悩、学生時代の懐かしい思い出などを語り合い、旧友や恩師との再会を楽しみました。各教員からは、自身の看護師時代の経験や教育職を選んだ理由、現在に至るまでの過程が紹介され、卒業生たちのさらなる活躍を願ってアドバイスする場面がありました。



それぞれの経験を語り合う参加者

令和7年度高齢者こころとからだの健康チェック

4月19日(土)・20日(日)の2日間、リハビリテーション学部では、医学部衛生・公衆衛生学講座甲田勝康教授の協力のもと、地域住民を対象とした『令和7年度高齢者こころとからだの健康チェック』が実施されました。4回目となる今回、2日間で計139名が参加しました。

参加者は、握力や特定条件下での歩く速度など、自身の様々なデータを測定したり認知機能検査を受けたりした後、結果をもとにフィードバックを受けました。

また今年もリハビリテーション学部生が多数スタッフとして参加し、参加者の誘導や測定、運営に携わりました。学生スタッフからは「地域の方々との直接的な関わりを通して、医療の現場とはまた違った視点か

ら学ぶことができ、とても貴重な経験となった」などの声が聞かれました。



筋力を測定する学生スタッフ

WFOT（世界作業療法士連盟）認定

関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科は、世界作業療法士連盟(WFOT)の教育水準を満たした認定校として認められました。WFOTは、作業療法の専門家を代表する公式の国際機関であり、作業療法教育の基準を国際的に設定し、研究と実践の卓越性を促進しています。本学の知識やスキルは、世界標準的であると認められ、将来的に海外での活躍も期待されます。



研究最前線

社会にもインパクトを与える大型研究。本学の研究者の活躍の一端をご紹介します。

構造がわかれば、薬も進化する。

医学部医化学講座 清水（小林）拓也 教授

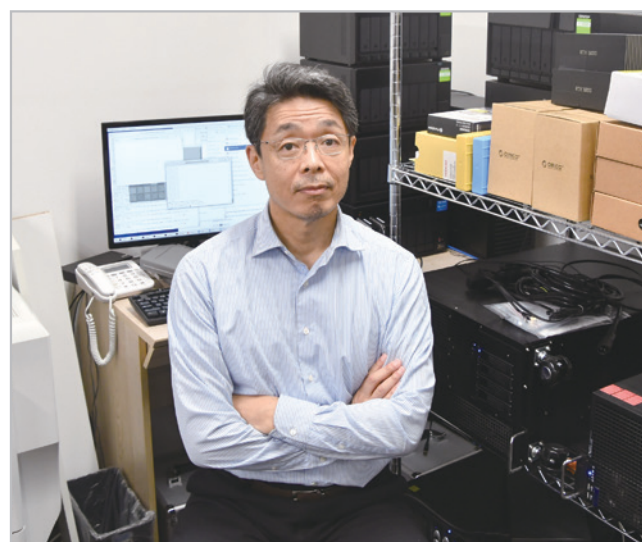
ヒトの体内にある無数のタンパク質。中でも、薬の効き目を左右する“膜タンパク質”の立体構造は、なかなか目で見ることができません。そんな“見えない”相手と日々格闘しながら、私たちはクライオ電子顕微鏡という顕微の名刀を手に、原子のレベルでその姿を捉えています。医化学講座では、関西医大発、次世代の創薬を切り拓くチャレンジが始まっています。

【創薬に資するヒト膜タンパク質のクライオ電子顕微鏡単粒子解析】

近年の技術革新により、クライオ電子顕微鏡単粒子解析(Cryo-EM SPA)は、従来のX線結晶構造解析では困難なヒト膜タンパク質の構造解析を容易にしました。これにより、創薬ターゲットである膜タンパク質の構造が結晶化を必要とせず、より短期間で明らかにできるようになり、構造に基づく薬剤設計(Structure-based Drug Design, SBDD)への応用が急速に進んでいます。

当講座では、X線結晶構造解析で培ったタンパク質生産技術をCryo-EM SPAに応用し、特にGタンパク質共役受容体(GPCR)の構造決定を高速に進めています。cryoSPARCなどの解析ソフトの発展もあり、これまでに25種類以上のヒト膜タンパク質の構造決定を行いました。現在、5テーマでNature姉妹誌への投稿またはリバイス作業を進行中で、創薬上極めて重要なターゲットの構造が次々と明らかになりつつあります。

ただし、構造解析にはGPUを用いた計算が不可欠



であり、本学の設備上の制約から講座内の居室に騒音・熱を伴うGPUマシンを設置している状況です。今後の更なる解析には、専用のサーバールーム等、環境整備が急務です。

なお、本研究は製薬企業との産学連携による共同研究としても進行中であり、外部機関からの信頼も高く、多くの学内外の研究室との連携の基盤にもなっています。現在、3名の社会人博士課程学生、2名の外研学生が本プロジェクトに参加しており、今後も教育と研究の両立を目指していきます。

【カンイ抗体ファクトリー構想】

当講座では、良質な抗原を用いた立体構造認識抗体の開発技術を活かし、「カンイ抗体ファクトリー構想」を展開しています。この技術は、京都大学在籍時に確立し、現在の研究環境ではKMUコンソーシアムに採択された2つのプロジェクトにより一層強化されました。



構造を認識する抗体は高い選択性と親和性を有し、特に附属光免疫医学研究所との連携による光免疫療法を含めた抗体医薬としての応用を目指しています。現在、バイオバンクセンターをはじめ、腎泌尿器外科、外科、臨床検査医学センター等、学内の複数の臨床講座との共同研究が進行中であり、開発した抗体によるがん細胞への選択的な死滅効果も確認されています。

また、企業との共同研究も活発であり、ヒト膜タンパク質認識抗体の技術基盤を生かし、迅速な抗体医薬開発の支援体制が構築されています。本構想では、良質な抗体を迅速かつ安定的に供給し、共同研究を通じて学内研究を加速させることを目的としています。実際に、限られた期間内に学位取得を目指す臨床講座所属の大学院生への研究支援も積極的に行っており、研究成果を学位取得・実用化へとつなげていく体制が整いつつあります。

【基礎医学系講座の研究レベル底上げを支援】

当講座では、精製レベルで優れたタンパク質標品の作製技術を基盤として、構造生物学と抗体医薬開発を推進しています。これらの技術は、本学の基礎医学系講座間の連携を加速させ、分子レベルの新たな視点を提供する重要な土台です。

特に、Cryo-EM SPAは本学で唯一医化学講座のみが実施しており、その導入によって構造決定は加速・平易化され、論文投稿や研究成果の発信が大幅に促進されました。すでに附属生命医学研究所神経機能部門との共同研究では、ターゲット分子に結合するリガン

ドの構造を可視化し、分子機能の解明に貢献しています。これを含む一連の成果は、大型グラントの申請にもつながる重要なステップとなっています。

今後は、構造生物学・抗体開発の両輪を軸に、基礎医学系講座と臨床系講座をつなぐ“ジョイント”としての役割を担い、関西医大全体の研究基盤強化を目指していきます。

主な競争的研究費採択歴

平成28年～令和3年 革新的先端研究開発支援事業AMED-CREST 研究領域

「画期的医薬品等の創出をめざす脂質の生理活性と機能の解明」

令和元年～令和6年 先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業

「拡張結晶スポンジ法によるタンパク質の革新的分子構造解析」

平成30年～令和元年 科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽）

「大腸がんに対する新規抗体医薬の開発を目指す標的分子同定と立体構造基盤の構築」

令和3年～令和5年 科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽）

「オピオイドの副作用の要因となるヘテロマー化受容体のシグナル伝達機構の解明」

令和6年～令和10年 科学研究費助成事業 基盤研究（B）

「GPCRシグナル伝達分子複合体の立体構造に基づくシグナル選択的制御法の開発」

関西医科大学在職中（平成30年4月～令和7年3月）における「創薬標的分子の構造・機能解析」に関連した研究により獲得した競争的研究費の総額

【総額】309,500,000円

研究内訳

1. 文科省科研費：15,000,000円 2. AMED：190,000,000円

3. その他（私学助成金等）：104,500,000円

略歴

平成3年3月 金沢大学薬学部薬学科卒業

平成5年3月 金沢大学大学院薬学研究科修士課程修了

平成5年4月 コスモ石油（株）研究員

平成7年4月 京都大学大学院医学研究科博士課程入学

平成10年9月 京都大学大学院医学研究科博士課程単位取得後退学

平成10年10月 京都大学大学院医学研究科助手

平成12年9月 医学博士（京都大学）

平成16年4月 インペリアルカレッジロンドン留学

平成19年7月 京都大学大学院医学研究科 講師

平成24年7月 京都大学大学院医学研究科 准教授

平成30年4月 関西医科大学医学部医化学講座 教授

所属学会

日本生化学会 評議員

日本薬理学会

ス イス・ベルン大学と国際交流協定締結

4月21日(月) 17時から、在大阪スイス領事館(大阪市北区)において開催されたイベント「拡張農業：食料安全保障のための次世代イノベーション」の中で、本学とベルン大学(スイス)との学術交流協定が締結されました。

ベルン大学は医学部や法学部など8学部を有する、1834年創設のスイスの公立大学で、現在までに5名のノーベル賞受賞者を輩出しています。去る令和6年7月5日(金)には、本学とベルン大学病院リハビリテーション&スポーツ医療センターとの間で、循環器疾患の予防とリハビリテーションおよび健康増進分野での教育・研究において学術交流協定を締結しており、今回は大学間での締結となりました。

続いて4月23日(水)には、ベルン大学のバージニア・リヒター学長らが枚方キャンパスに来訪。本学からは木梨達雄学長、国際化推進センター友田幸一センター長、附属病院健康科学センター木村稷理事長特命教授、同ス

ポーツ医学センター山門浩太郎センター教授、医学部整形外科学講座おおえ賢一准教授が出席し、両大学の紹介と情報交換が行われました。

その後、附属光免疫医学研究所、附属病院健康科学センターなどの見学の後、関医タワーにおいて歓迎食事が催されました。



ベルン大学関係者との集合写真

バ ーモント大学来訪

4月9日(水)、本学と学術交流協定を締結しているバーモント大学(アメリカ)から木田正俊教授らが来学しました。木梨達雄学長との会談ののち、附属光免疫医学研究所他を視察しました。

同日17時から、関医タワー3階会議室2において大学院講座が開講され、冒頭の国際化推進センター友田幸一センター長による挨拶に続いて、木田教授、スコット・アンダーソン教授による「バーモント大学の紹介」、ジョアンナ・コナント准教授による「病理学に基づくアルゴリズム検査におけるNGSパネルの活用と血液悪性腫瘍への応用」、カーステン・J・スレルケルド助教による「米国医療の現状：現在の政策変更とその影響」の講義

が行われました。大学院生、医学生、関連講座教員などが多数参加しました。



会談後の集合写真

ス タンフォード大学西野名誉教授講演

6月23日(月) 17時から、枚方キャンパス医学部棟加多乃講堂において、スタンフォード大学(アメリカ)医学部精神科睡眠生体リズム研究所西野精治名誉教授による講演「100年越しのpandemicからの教訓」が行われ、教職員や大学院生ら約100名が参加しました。国際化推進センター友田幸一センター長が司会を務め、西野名誉教授が睡眠障害であるナルコレプシーの病態、睡眠時無呼吸症候群とCOVIDやインフルエンザとの関連など、38年間にわたる睡眠研究を発表。また、スタンフォード大学や研究所で行っている実験なども紹介されました。講演後の質疑応答では、同教授の研究と睡眠に関連する多

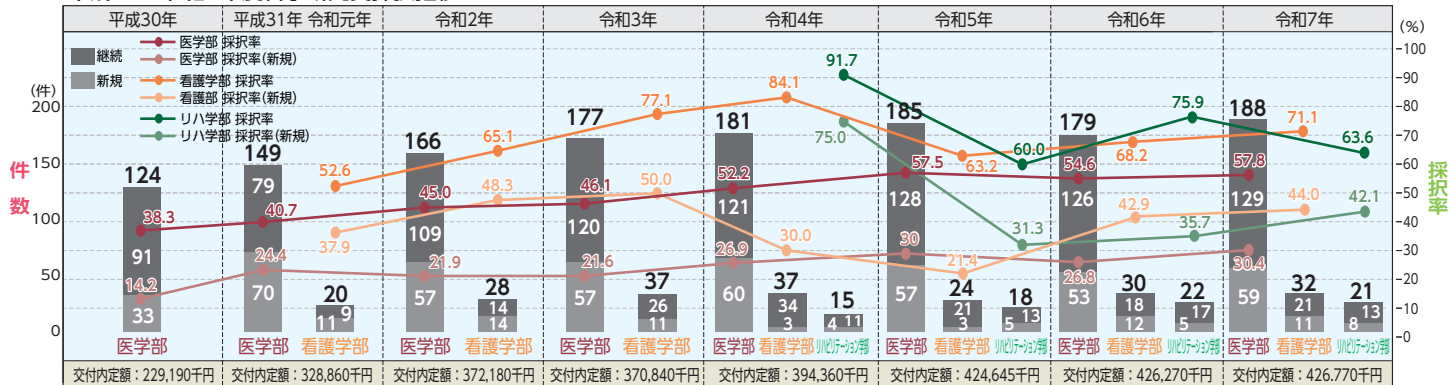
くの質問が寄せられ、関心の高さが感じられました。



講演終了後の記念写真

令和7年度科学研究費助成事業交付内定者一覽他

平成30～令和7年度科学研究費採択推移



文部科学省・日本学術振興会関係

令和7年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額（直接経費）	交付内定額（間接経費）	交付内定額（合計）
学術変革領域研究（A）	1	4,200,000	1,260,000	5,460,000
学術変革領域研究（B）	1	12,400,000	3,720,000	16,120,000
合 計	2	16,600,000	4,980,000	21,580,000

(単位：円)

令和7年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額（直接経費）	交付内定額（間接経費）	交付内定額（合計）
基盤研究（B）	28	111,800,000	33,540,000	145,340,000
基盤研究（C）	148	153,800,000	46,140,000	199,940,000
若手研究	57	58,600,000	17,550,000	76,150,000
挑戦的研究（開拓）	1	6,000,000	1,800,000	7,800,000
挑戦的研究（萌芽）	2	3,700,000	1,110,000	4,810,000
研究活動スタート支援	2	1,100,000	330,000	1,430,000
国際共同研究強化（B）	1	4,400,000	1,320,000	5,720,000
合 計	239	339,400,000	101,790,000	441,190,000

(単位：円)

令和7年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定者(代表者)一覽(文部科学省)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
学術変革領域研究(B) 継続	生理学講座	石井 宏憲	助 教	サルのコントラリアン意思決定の行動・神経基盤解明	12,400,000	3,720,000
学術変革領域研究(A) (公募型) 新規	侵襲反応制御部門	松田 烈士	研究員	低代謝状態を誘導するグリア-神経インタラクションの解明	4,200,000	1,260,000

(単位：円)

令和7年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B) 新規	理学療法学科	福島 卓矢	助 教	食道がんサバイバーに対するAIシステムを融合した新たな運動腫瘍学的治療戦略の創造	2,900,000	870,000
	理学療法学科	梅原 潤	助 教	骨格筋3次元形態ダイナミクスモデルの構築と運動機能予測への応用	5,900,000	1,770,000
	ゲノム編集部門	徳弘 圭造	准教授	雌性生殖路における配偶子・初期胚の品質管理システムの解明	4,300,000	1,290,000
	-	木梨 達雄	学 長	Rap1とインテグリンアダプター分子による双方向接着制御と非接着過程の統合的調節	5,100,000	1,530,000
	薬理学講座	中邨 智之	教 授	弾性線維の形成と再生の分子機構の解明	5,100,000	1,530,000
	生理学講座	中村 加枝	教 授	マカサルにおける外側手綱核―背側縫線核回路による嫌悪情報処理の神経基盤の解明	2,300,000	690,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	木村 俊哉	助 教	ALSの発症前診断と予防法開発を可能にする無症候性最初期病態の解明	5,100,000	1,530,000
	基盤開発部門	近藤 直哉	講 師	抗体の血中半減期調節を実現する生体直交型放射標識法の確立	8,000,000	2,400,000
	生理学講座	林 美樹夫	講 師	脳腫瘍の根治に向けた、がん幹細胞を選択的に細胞死誘導する抗癌剤の開発	4,600,000	1,380,000
	解剖学講座	北田 容章	教 授	成体イモリ脊髄損傷の自発的再生を担う超幼若細胞の幹細胞性を検証する	4,600,000	1,380,000
	こども看護学領域	古藤 雄大	講 師	先天性代謝異常患者と家族の報告型アウトカムによる包括的評価パッケージの開発と実装	6,000,000	1,800,000
	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	教 授	ヒトゲノム未開拓領域探索法の確立	3,300,000	990,000
基盤研究(B) 継続	医化学講座	片野 泰代	准教授	中枢神経系の可塑的变化を病態基盤とする慢性疼痛とうつ病の新規分子機序の解明	3,200,000	960,000
	基礎看護学領域	山下 裕紀	准教授	脳卒中失語症者の社会性回復を目指したcommunicationの実装	1,200,000	360,000
	理学療法学科	前澤 仁志	准教授	BMI、脳刺激法、AIを融合したテラーメイド型嚥下機能再建法とその神経基盤解明	2,100,000	630,000
	基礎看護学領域	鯨島 輝美	教 授	教育DX化にともなう技術教材の教育的意義・活用の開発を目指したアクション・リサーチ	4,700,000	1,410,000
	がん生物学部門	坂本 毅治	教 授	がん治療薬誘導性間質細胞老化の分子病態の解明と治療応用	4,500,000	1,350,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	講 師	ヒト造血幹細胞体外無限増幅システムの開発	4,200,000	1,260,000
	衛生・公衆衛生学講座	中村 晴信	非常勤講 師	行動変容を目指した小・中学生向けのヘルスリテラシー形成プログラムの開発と効果検証	2,800,000	840,000
	神経機能部門	小早川令子	教 授	先天的恐怖刺激が誘導する神経保護作用の解明	3,300,000	990,000
	医化学講座	寿野 良二	准教授	睡眠覚醒を制御するオレキシン受容体シグナル伝達機構の全貌解明と選択的薬剤開発	4,900,000	1,470,000
	医化学講座	小林 拓也	教 授	GPCRとシグナル伝達分子複合体の立体構造に基づくシグナル選択的制御法の開発	2,700,000	810,000
	免疫部門	石亀 晴道	准教授	腸管末梢神経系を介した炎症応答制御機構の解明	4,300,000	1,290,000
	腫瘍病理学部門	近藤 英作	教 授	睪がん治療の革新に向けた新規DDS応用標的分子の解析と治療戦略への展開	4,600,000	1,380,000
	生理学講座	安田 正治	講 師	サル結合腕傍核、内臓感覚伝達系における情動の神経表現と機能解析	4,200,000	1,260,000
	基盤開発部門	花岡 宏史	教 授	核医学治療と光免疫療法を融合した革新的がん治療法の創生	3,200,000	960,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	教 授	体脂肪と筋肉の比率や分布様式が臓器機能と生存期間に及ぼす影響についての疫学研究	3,400,000	1,020,000
	地域看護学領域	大川 聡子	教 授	10代父親・母親の逆境的小児期体験を緩和するPACEsに着目した育児支援プログラム開発	1,300,000	390,000
基盤研究(C) 新規	心療内科学講座	水野 泰行	講 師	慢性疼痛患者の人格特性が治療後に与える影響の検討	1,100,000	330,000
	分子遺伝学部門	近藤 直幸	講 師	LFA1のリガンド結合が起動するオルガネラ再配置の分子機序と意義の解明	900,000	270,000
	生物学教室	平野 伸二	教 授	扁桃体情動回路形成におけるプロトコドヘリンの役割の解明	2,300,000	690,000
	生理学講座	石井 宏憲	助 教	時間を巧く使うサル、追われるサル～タイムマネジメントを神経・生理学的に解き明かす	700,000	210,000
	薬理学講座	三木 貴雄	講 師	概日リズムとがんの関連から着目した新規がん制御機構の解明	1,800,000	540,000
	下部消化管外科学講座	渡邊 純	教 授	MSI-H/dMMR大腸癌に対する術前PD-1阻害薬のマルチオミクス解析による治療効果予測	1,500,000	450,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	がんセンター	金井 雅史	教 授	オキサリプラチンの至適投与法に関する研究	1,500,000	450,000
	生理学講座	上田 康雅	講 師	ストレス存在下で大脳基底核のセロトニンとドーパミンが果たす役割を明らかにする研究	1,600,000	480,000
	モデル動物部門	上野 宏樹	研究員	角膜三叉神経障害における角膜ミクログリアの役割の解明と治療法開発	1,100,000	330,000
	医化学講座	西田 和彦	助 教	疼痛伝達に関わる脊髄後角投射ニューロンの新規サブタイプの探索とその機能解析	900,000	270,000
	放射線科学講座	吉田 謙	准教授	次世代緩和的小線源治療の確立のための新型国産HDR-RALSの開発の検討	1,700,000	510,000
	小児科学講座	山内 壮作	講 師	小児のステロイド抵抗性ネフローゼ症候群における腸内細菌叢の乱れと新規治療薬開発	500,000	150,000
	内科学第三講座	中山 新士	講 師	膀胱における一塩基多型と細菌叢プロファイルの関係性の解明	1,900,000	570,000
	内科学第二講座	藤井 健一	准教授	人工知能による急性心筋梗塞前駆病変の自動診断技術の開発	1,800,000	540,000
	臨床検査医学センター	神田 晃	教 授	2型気道炎症におけるEDN/mEAR2の時空的動態と役割の解明	1,200,000	360,000
	微生物学講座	上野 孝治	助 教	HTLV-1関連疾患の発症予防を目指したTax抵抗性の転写抑制機構の解析	1,300,000	390,000
	肝臓外科学講座	海堀 昌樹	教 授	治療抵抗性肝細胞癌に対する抗瘤剤内包型7αシアノン修飾リポソームを用いた新規治療法開発	1,200,000	360,000
	上部消化管外科学講座	山崎 誠	教 授	食道痛集学的治療における新規支持療法の開発	1,800,000	540,000
	麻酔科学講座	萩平 哲	教 授	麻酔中の脳波モニタリングを元にした鎮痛制御法の開発	1,300,000	390,000
	解剖学講座	小池 太郎	講 師	後根神経節内の疼痛経路調節に果たすサテライトグリアの機能解析	1,900,000	570,000
	救急医学講座	梶野健太郎	准教授	院外心停止症例に対するアドレナリン静脈投与又は骨髄投与の生存転帰に関する比較検討	1,300,000	390,000
	脳神経外科学講座	武田 純一	講 師	遺伝的修飾効果による二分脊椎発症メカニズムの解明	1,100,000	330,000
	脳神経外科学講座	磯崎 春菜	助 教	脊髄髄膜瘤の病態発生の分子遺伝学的解明	1,100,000	330,000
	解剖学講座	大江 総一	講 師	間葉型グリオーマ幹細胞を標的とした新規核酸医薬の開発	1,100,000	330,000
	腎泌尿器外科学講座	木下 秀文	教 授	筋層非浸潤性尿路上皮癌に対する次世代光免疫療法を用いた革新的非観血治療法の開発	2,500,000	750,000
	産科学・婦人科学講座	森川 守	教 授	HELLP症候群における補体制御因子の遺伝子変化の探索研究	1,300,000	390,000
	産科学・婦人科学講座	西垣 明実	研究員	卵巣内低酸素における細胞老化の機序解明と新規治療基盤の構築	1,300,000	390,000
	眼科学講座	佐々木香る	非常勤 講 師	緑内障における全身のdysbiosisの解明とラクトフェリンによる新規治療の開発	1,700,000	510,000
	形成外科学講座	益岡 弘	講 師	正常な表情発現のための顔面表情筋の複合的作用機序の解明	1,300,000	390,000
	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	兒島 由佳	教 授	薬剤関連顎骨壊死における外科的切除範囲決定法の確立	900,000	270,000
	麻酔科学講座	梅垣 岳志	准教授	リアルワールドデータを用いたCOVID-19におけるECMO治療の予後、費用効果分析	1,500,000	450,000
	免疫部門	岡村千絵子	助 教	活性型ビタミンD3アジュバント活性の増強を目指した基礎的研究	500,000	150,000
	基礎看護学領域	中西 愛	助 教	発達障害のある看護師に対応する看護師育成プログラムの開発	1,300,000	390,000
	国際看護学領域	新屋 智子	助 教	外国人看護補助者の離職防止に向けた多様性を活かす研修プログラムの開発	300,000	90,000
	理学療法学科	石井 瞬	研究員	がん患者の慢性疼痛に対するICTを活用したプレジジョンリハビリテーションの開発	2,200,000	660,000
	クリティカルケア看護学領域	宇都宮明美	教 授	専門看護師の役割遂行のためのコンピテンシーモデルの構築	1,000,000	300,000
	母性(助産)看護学領域	岩國亜紀子	研究員	妊婦を対象とした「つわりの軽減を目指す身体・生活調整プログラム」の効果検証	1,300,000	390,000
	母性(助産)看護学領域	富田英里子	研究員	生殖可能年齢のネパール人女性技能実習生の性と生殖の健康と異文化適応に関する検討	1,000,000	300,000
	こども看護学領域	加藤 令子	教 授	幼児期後期のこども自身が地震に備えセルフケアを獲得するための災害準備教育の検証	1,100,000	330,000
	母性(助産)看護学領域	酒井ひろ子	教 授	妊娠期から育児期の喫煙に関連する予測因子に考慮した禁煙支援の検討	600,000	180,000
	こども看護学領域	石浦 光世	講 師	重度の障害のある幼児期のこどもの社会に参加する力を育む看護支援ガイドラインの開発	1,300,000	390,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	在宅看護学領域	李 錦純	教 授	多文化社会に対応した在宅ケアグローバル人材養成教育プログラムの評価と効果検証	700,000	210,000
	衛生・公衆衛生学講座	三宅 眞理	非常勤講師	HAL(ロボットスーツ)を用いた介護予防の実践とAI 評価	1,100,000	330,000
	理学療法学科	中野 治郎	教 授	運動負荷再現システムの開発によってがん免疫療法の対費用効果を向上させる段階的研究	2,300,000	690,000
	リハビリテーション医学講座	田口 周	助 教	麻痺肢推進力を伴う歩きを片麻痺患者自身に選択させる足関節機能再建の方略	1,200,000	360,000
	理学療法学科	浅井 剛	准教授	小型慣性センサを用いたターン動作解析による転倒リスク予測モデルの開発	1,100,000	330,000
基盤研究(C) 継続	放射線科学講座	狩谷 秀治	准教授	蛋白付着抑制コートはバイオフィーム形成を阻止しカテーテルへの細菌付着を妨げるか？	300,000	90,000
	小児科学講座	石崎 優子	教 授	起立性調節障害児のデコンディショニングに対するトレーニングプログラムの開発	200,000	60,000
	作業療法学科	三木 恵美	准教授	外来治療中の乳がん患者に対する就労支援リハビリテーションプログラムの開発	400,000	120,000
	精神神経科学講座	加藤 正樹	教 授	オミックスと長期評価による適切なゴールを目指す気分障害の革新的治療の基盤構築	1,400,000	420,000
	放射線科学講座	丸山 拓士	助 教	リンパ還流障害の中核に画像ガイド下でリンパ管-静脈バイパスを作成する動物実験	500,000	150,000
	精神神経科学講座	齊藤 幸子	非常勤講師	精神分析的精神療法は自閉スペクトラム症患者のミラーニューロンシステムを補強するか	100,000	30,000
	放射線科学講座	小野 泰之	助 教	PMEAコーティングの生体内長期抗菌効果の証明	700,000	210,000
	形成外科学講座	覚道奈津子	教 授	ヒト脂肪幹細胞の陰圧負荷培養を応用した創傷治療・血管新生効果の解明と応用	700,000	210,000
	理学療法学科	佐藤 春彦	教 授	脳性麻痺児への安全確実な睡眠姿勢ケアの実践を支援する遠隔相談と変形予防効果の検証	400,000	120,000
	作業療法学科	松島 佳苗	准教授	協調運動障害における予測的運動制御の発達の評価指標の開発	700,000	210,000
	放射線科学講座	中谷 幸	講 師	CT透視ガイド下穿刺を姿勢制御技術を搭載したデバイスで補助する研究	400,000	120,000
	生物学教室	岡野 圭子	講 師	シアノバクテリアの頑健な概日リズムを実現するKaiC複合体の新規翻訳後制御の解析	800,000	240,000
	モデル動物部門	紀 照華	博 士研究員	腎尿細管間質病変の進行における CTRP6-PAQR シグナル伝達経路の役割	700,000	210,000
	医化学講座	井上 明俊	助 教	慢性搔痒の創薬に向けた中枢痒み受容体GRPR、NMBRの構造基盤の解明	900,000	270,000
	解剖学講座	林 真一	講 師	完全再生動物イモリにおける脊髄再生原理の解明と非再生動物の再生阻害要因克服	1,200,000	360,000
	ゲノム解析部門	安河内彦輝	講 師	生体・細胞の全遺伝子発現変動に基づく急性低酸素応答を駆動する主要遺伝子群の解明	600,000	180,000
	生物学教室	上村 允人	助 教	嗅内皮質-海馬間の神経基盤形成におけるプロトカドヘリンの分子機構と生理学的意義	1,000,000	300,000
	侵襲反応制御部門	松尾 朋彦	講 師	致死的低酸素環境下での生存期間延長を可能とする脳神経核の同定および作用機序の解明	500,000	150,000
	生理学講座	武藤 恵	講 師	海馬生後発達における代謝型グルタミン酸受容体のサブタイプ特異的機能の解明	600,000	180,000
	基礎看護学領域	平原 幸恵	教 授	スルファチド分子種の局在解析によってオリゴデンドロサイトの異種性を特徴づける	1,300,000	390,000
	薬理学講座	富川 直樹	助 教	Lysyl oxidase欠損により発症する大動脈瘤形成機序の解明	1,200,000	360,000
	病理学講座	葛 幸治	教 授	位相差顕微鏡ならびに蛍光細胞染色を用いた迅速細胞診の精度向上への試み	500,000	150,000
	生体情報部門	住吉 麻実	助 教	Arf経路を介したT細胞脂質代謝プログラミングの分子基盤解明	1,100,000	330,000
	分子遺伝学部門	植田 祥啓	准教授	Raplによるインテグリン非依存的T細胞活性化機構の解明	1,200,000	360,000
	乳腺外科学講座	矢内 洋次	講 師	遺伝性乳癌卵巣癌症候群の乳癌発症機構の解明を基軸とした予防的乳房切除の指標確立	1,000,000	300,000
	胆膵外科学講座	橋本 大輔	准教授	膵癌腹膜播種における新規ターゲットに対する光免疫療法の開発	500,000	150,000
	腎泌尿器外科学講座	吉田 崇	助 教	組織表現型に基づいた腎癌オルガノイドの樹立と新規治療戦略の創出	1,200,000	360,000
	内科学第三講座	鳥谷 昌明	教 授	腫瘍性膵嚢胞および膵癌の発癌早期予測を可能にする新規バイオマーカーの開発の研究	1,500,000	450,000
	内科学第一講座	伊藤 量基	教 授	樹状細胞をターゲットにした、JAK阻害の有効性と副次反応の一元的機序解明	1,000,000	300,000
	精神神経科学講座	嶽北 佳輝	教 授	緊張病の分子生物学的病態解明を目指した横断/縦断研究	100,000	30,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	放射線科学講座	中村 聡明	教 授	積極的骨転移診療に向けた放射線治療適応スコアの開発	700,000	210,000
	肝臓外科学講座	石崎 守彦	講 師	根治不能肝細胞癌に対するEphA2遺伝子を標的とした新規核酸医薬の開発	100,000	30,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	服部 文幸	教 授	TGFβ1を用いたヒトiPS細胞由来心筋細胞による心臓再生医療の高度化	500,000	150,000
	薬理学講座	平井 希俊	講 師	メカニカルストレスのかかる心筋細胞核におけるゲノム高次構造の役割の解明	1,000,000	300,000
	内科学第二講座	塚口 裕康	講 師	蛋白翻訳プロセスから探る腎と神経発達障害の分子機構	700,000	210,000
	内科学第一講座	佐竹 敦志	准教授	セマフォリン4Aから迫る移植後大量エンドキサン療法最適化のための基礎的研究	1,400,000	420,000
	精神神経科学講座	船楓 紀也	助 教	肝胆腫瘍に対する高侵襲手術におけるせん妄の病態探求および術後経過との関連性の検討	1,000,000	300,000
	胆臓外科学講座	里井 壯平	教 授	光免疫療法による腹膜播種腫瘍に対する新規治療法の確立	1,100,000	330,000
	救急医学講座	鉾方 安行	教 授	敗血症ショックに対するチアゾリン類恐怖臭物質を利用した新たな循環管理法の開発	1,000,000	300,000
	救急医学講座	室谷 卓	講 師	腸管虚血再灌流障害の軽減のための薬剤・チアゾリン類恐怖臭の効果の検討	800,000	240,000
	脳神経外科学講座	李 強	助 教	AMPA受容体をターゲットとしたグリオーマの創薬基盤	1,100,000	330,000
	衛生・公衆衛生学講座	村上 由希	講 師	骨粗鬆症の予防および改善に有効な新規機能性分子の探索と作用機序の解明	1,100,000	330,000
	整形外科科学講座	安藤 宗治	嘱託医	脊椎脊髄術中神経生理モニタリングの精度の向上に関する研究	1,100,000	330,000
	腎泌尿器外科学講座	佐野 剛視	講 師	同所性同種膀胱癌モデルマウスを用いた免疫チェックポイント阻害剤感受性因子の解明	600,000	180,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	岩井 大	教 授	骨髄細胞接種による老人性難聴予防の検討	1,300,000	390,000
	眼科学講座	盛 秀嗣	講 師	LTBP2遺伝子欠損マウスに外的刺激アドオンによる落屑症候群モデルマウスの作成	1,000,000	300,000
	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	坂本 由紀	講 師	高齢者の睡眠時無呼吸とサルコペニアの関連解明	700,000	210,000
	医工学センター	PEZZOTTI Giuseppe	教 授	ラマン分光法を用いた口腔バイオフィルムの分子構造解析と高感度な迅速診断法の開発	1,100,000	330,000
	産科学・婦人科学講座	佐藤 智佳	助 教	遺伝性乳癌卵巣癌患者のリスク低減乳房切除術とQOLの関連検討	100,000	30,000
	精神看護学領域	三木 明子	教 授	医療・在宅現場の暴力・ハラスメント対策を促進するためのツール開発	1,700,000	510,000
	看護学教育領域	吉田 和美	教 授	看護師のフォローアップ育成支援プログラムの開発に関する研究	1,000,000	300,000
	理学療法学科	福元 喜啓	准教授	超音波法を用いた筋変性推定モデルの構築と実用性検証	300,000	90,000
	呼吸器腫瘍内科学講座	勝島 詩恵	助 教	外来化学療法中の進行・再発がん患者の包括的がんリハビリテーションプログラムの開発	600,000	180,000
	こども看護学領域	田中 雅美	講 師	親・医療者それぞれが考える13・18トリソミー児におけるQOLの解明	400,000	120,000
	微生物学講座	大高 時文	助 教	HTLV-1 感染モデルマウスを用いた腸内細菌投与によるATL発症予防法の開発	1,200,000	360,000
	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講 師	新しい「視点」からの白血球ローリングメカニズム解明	1,100,000	330,000
	がん生物学部門	赤松香奈子	研究員	ユビキチンリガーゼによる精子の透明帯接着能獲得機構の解明	1,100,000	330,000
	モデル動物部門	村山 正承	講 師	軟骨再生医療を見据えた、CTRP分子/PAQR受容体を軸とする軟骨代謝機構の解明	1,300,000	390,000
	微生物学講座	大隈 和	教 授	宿主細胞内侵入機構を応用したSARS-CoV-2薬剤耐性変異株に対する新規治療薬の開発	1,000,000	300,000
	衛生・公衆衛生学講座	保坂 直樹	研究員	Ex vivoでのCD8T細胞の誘導・増殖法の開発 -免疫チェックポイント療法の増強と制御-	900,000	270,000
	病理学講座	仲矢 丈雄	准教授	癌脳転移を抑制する抗腫瘍薬の分子作用機構解明	1,200,000	360,000
	神経機能部門	林 勇一郎	講 師	広大な空間における海馬歯状回の情報表現	500,000	150,000
	テニユアトラック部門	田宮 寛之	助 教	体内時計創薬プラットフォームの開発を目指した中枢時計の系譜解析	1,400,000	420,000
	心療内科学講座	蓮尾 英明	教 授	不眠障害に対する振動覚を用いた個人特有の在宅共鳴呼吸法の確立と機序の解明	1,000,000	300,000
	脳神経外科学講座	山村奈津美	助 教	グリオーマの浸潤を標的としたバイオマーカーの確立	1,100,000	330,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	放射線科学講座	武川 英樹	助 教	放射線医療ドメイン特化型の大規模言語モデルの開発	1,000,000	300,000
	放射線科学講座	鶴崎 正勝	教 授	肝細胞癌に対する複合免疫療法の効果を予測する新規イメージングバイオマーカー探求	1,200,000	360,000
	内科学第三講座	山口 隆志	講 師	細胞老化の蓄積解除から切り開く新規肝疾患治療法の基盤開発	900,000	270,000
	内科学第三講座	下田 慎治	教 授	オミックス解析・単一細胞解析情報を統合した原発性胆汁性胆管炎の新規治療戦略の樹立	1,400,000	420,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	山下 裕美	助 教	日本人嚢胞性線維症患者由来iPS細胞を用いた汎粘膜改善薬の探索	800,000	240,000
	内科学第二講座	入江潤一郎	教 授	細胞外小胞を応用した肥満糖尿病の新規治療戦略の開発	900,000	270,000
	小児外科学講座	中村 弘樹	准教授	ヒルシユスブルグ病におけるパネート細胞による腸管免疫についての検証	600,000	180,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	白水 泰昌	准教授	ヒトiPS細胞由来肝幹細胞様細胞を用いた先天性代謝異常性肝疾患治療デバイスの作成	1,600,000	480,000
	肝臓外科学講座	松井 康輔	准教授	抗癌剤内包型フタロシアニン修飾リポソームを用いた治療抵抗性胆管癌に対する新規治療法開発	1,300,000	390,000
	胆臓外科学講座	中竹 利知	助 教	胆道がんに対するEphA2を標的とした抗体医薬の開発-光感受物質と核酸医薬の融合-	1,100,000	330,000
	胆臓外科学講座	山木 壮	講 師	NRF2/Keap1経路に着目した膀胱癌後因子アディポフィリン発現機序の解明	1,500,000	450,000
	心臓血管外科学講座	岡田 隆之	准教授	精密医療実現に向けたゲノム・オミックス情報に基づく心大動脈疾患の分子病態研究	1,400,000	420,000
	呼吸器外科学講座	齊藤 朋人	講 師	糖鎖抗原MECA-79に着目した肺腺がん高悪性化メカニズムの解明	1,500,000	450,000
	麻酔科学講座	吉田 敬之	講 師	Augmented Reality技術を応用した脊髄麻酔のための穿刺針ガイドシステムの開発研究	1,000,000	300,000
	胆臓外科学講座	柳田 英佐	研究員	iNOSを標的とした機能付加型核酸医薬による難治性敗血症の攻略	1,100,000	330,000
	胆臓外科学講座	北出 浩章	准教授	ヒト難治性敗血症に対するインターロイキン受容体の制御を標的とした核酸医薬の開発	1,200,000	360,000
	脳神経外科学講座	吉村 晋一	教 授	がん幹細胞を標的とした転移性脳腫瘍の治療薬の開発	1,100,000	330,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	教 授	二分脊椎症の責任遺伝子の同定	900,000	270,000
	腎泌尿器外科学講座	谷口 久哲	講 師	精液マイクロバイーム解析に基づく膿精液症の実態解明と妊孕性に及ぼす影響の検討	1,100,000	330,000
	腎泌尿器外科学講座	滝澤 奈恵	講 師	疾患特異的iPS細胞を用いた褐色細胞腫・パラガングリオーマの転移・進展機構の解明	800,000	240,000
	産科学・婦人科学講座	村田 紘未	講 師	絨毛外栄養膜細胞の最適な脱着膜浸潤へと導く子宮内膜間質細胞の分子機構を解明する	1,700,000	510,000
	病理学講座	吉田 真子	講 師	味蕾形成機構の解明を基軸とした機能的味蕾誘導法の開発	1,200,000	360,000
	眼科学講座	今井 尚徳	教 授	フィブリノーゲン/ICAM-1シグナル伝達に着目した糖尿病網膜症の病態解明	1,200,000	360,000
	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	澤田 俊輔	准教授	ヒトiPS細胞由来唾液腺幹細胞を用いた再生治療におけるTherapeutic time windowの同定	1,300,000	390,000
	神経内科学講座	薬師寺祐介	教 授	日本人に多い1型脳小血管病の新規病態説明因子探索と重症化予測モデルの構築	1,400,000	420,000
	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	混合試料解析を目的としたマイクロハプロタイプのバリテーションと専用ソフトの開発	1,400,000	420,000
	こども看護学領域	大橋 敦	教 授	聴覚を活用した学修支援ツールが看護学生の医学知識の定着に及ぼす効果	400,000	120,000
	看護学教育領域	上山千恵子	講 師	ピアエンパワメントを活用した潜在看護師の復職支援プログラムの構築	300,000	90,000
	クリティカルケア看護学領域	宮川 彩花	助 教	RRSを要請する看護師の急変認知力向上にむけた教育的介入の効果について	600,000	180,000
	精神看護学領域	吉田 麻美	助 教	暴力被害に遭った病院看護職のメンタルヘルス支援促進のためのツールの開発	300,000	90,000
	母性(助産)看護学領域	川寄 有紀	講 師	妊娠糖尿病既往女性の糖尿病発症予防に向けた健康行動支援AIシステムの開発	2,700,000	810,000
	基礎看護学領域	山本加奈子	教 授	ラオス農村部におけるSNSを活用した持続可能な健康教育プログラムの開発	900,000	270,000
	地域看護学領域	光井 朱美	講 師	健康危機発生時に新任期保健師の早期離職を予防する心理的支援プログラムの構築	400,000	120,000
	地域看護学領域	田中 規子	助 教	在留外国人母子に対する自然災害を想定した自治体保健師のゼロ次予防策の構築	300,000	90,000
	理学療法学科	脇田 正徳	講 師	身体への物理的外乱刺激および視覚的刺激を用いた新たなバランストレーニングの開発	600,000	180,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	作業療法学科	加藤 寿宏	教 授	自閉スペクトラム症児の柔らかさの知覚(softness perception)と協調運動障害	900,000	270,000
	理学療法学科	池添 冬芽	教 授	骨格筋変性のステージ分類に着目した筋変性予防のための低強度トレーニング法の開発	800,000	240,000
若手研究 新規	作業療法学科	宮原 智子	助 教	高次脳機能障害者の就労定着に関連する要因の解明及び具体的就労支援指針の開発	600,000	180,000
	行動医学教室 (心理学教室)	平野 智子	非常勤 講 師	ウェアラブル生体センサを用いたフォーカシング過程の生理学的研究	1,300,000	390,000
	ゲノム編集部門	竹本 一政	助 教	生殖細胞発生におけるマイナーイントロンおよびスプライセオソムの機能解析	1,500,000	450,000
	乳腺外科学講座	木川雄一郎	准教授	遺伝性乳癌卵巣癌症候群乳癌症例に対する近赤外光免疫療法の開発	1,600,000	480,000
	精神神経科学講座	佃 万里	助 教	うつ病を合併した慢性疼痛への経頭蓋磁気刺激の効果と脳機能変化の検討	600,000	180,000
	放射線科学講座	姉帯 優介	助 教	量子コンピューターを用いた細胞線量応答モデルの構築	1,100,000	330,000
	小児科学講座	保田 真宏	助 教	先天性ネフローゼ症候群における免疫抑制薬作用機序の解明：ヒトiPS細胞を用いた検討	1,700,000	510,000
	内科学第三講座	山階 武	講 師	ダブルバルーン小腸内視鏡を用いた好酸球性小腸炎の臨床的背景の確立	1,300,000	390,000
	呼吸器腫瘍内科学講座	山中 雄太	講 師	小細胞肺癌オルガノイドを用いた癌免疫再現系における免疫環境解析	1,200,000	360,000
	内科学第二講座	上田 啓子	助 教	腎糸球体硬化に関わる細胞骨格制御のネットワークの解明	1,500,000	450,000
	肝臓外科学講座	松島 英之	講 師	チアゾリン類恐怖臭による肝切除後敗血症・肝不全に対する生命保護効果の検討	1,000,000	300,000
	脳神経外科学講座	小森裕美子	研究医員	難治性脳形成障害の新規治療法の開発に向けた疾患発症メカニズムの原因解明	2,600,000	780,000
	解剖学講座	岩下 洸	助 教	脳梗塞における胆汁酸の生理的役割解明と、胆汁酸の脳梗塞治療への応用	900,000	270,000
	産科学・婦人科学講座	吉田 彩	講 師	プロゲステロンの妊娠子宮における"非ゲノム作用"の下流シグナルの解明	1,700,000	510,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	三谷 彰俊	助 教	臨床応用を目指した骨髄移植による加齢性難聴の予防法とその機序の検討	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	鈴木 健介	准教授	ナトリウムヨウ素共輸送体の機能亢進と腫瘍血管正常化によるI-131抵抗性の克服	1,100,000	330,000
	母性(助産)看護学領域	神崎 真姫	研究員	多胎の父親になる意識、育児への動機づけと抑うつとの関連	500,000	150,000
	作業療法学科	橋本 晋吾	助 教	Brain Machine Interfaceによる左上肢活性化が左半側空間無視に与える効果について	1,500,000	450,000
	健康科学センター	吉本 拓登	研究員	イヤホン型センサの臨床応用へ向けた嚥下の鑑別と嚥下障害の特徴把握	1,300,000	390,000
	理学療法学科	田頭 悟志	講師	障害者スポーツ選手の義足着用下におけるトレーニング法の開発	2,700,000	810,000
若手研究 継続	リハビリテーション医学講座	竹内 翔	研究医員	SCIM SRの日本語版の作成と妥当性の検討	100,000	0
	クリティカルケア看護学領域	小林 寛子	助 教	在宅療養移行を実現する悪性脳腫瘍患者の外泊看護支援プログラムの作成	200,000	60,000
	放射線科学講座	河野由美子	講 師	悪性腫瘍に対する新たな放射線塞栓療法の開発	0	0
	精神神経科学講座	越川 陽介	研究員	フォーカシングの精神科領域臨床応用のための無作為化比較試験：うつ病とQOL	400,000	120,000
	精神神経科学講座	青木 宣篤	講 師	ECTにおけるけいれん発作の成否を包括的に定量化するレジストリ研究とその検証	500,000	150,000
	内科学第三講座	伊藤 嵩志	助 教	膵管内乳頭粘液性腫瘍に対する制御性T細胞を中心とした新規バイオマーカーの探索	100,000	30,000
	病理学講座	野田 百合	講 師	口腔腫瘍性病変表層に特異的に発現する新規分化関連タンパク質の発現と作用機序の解析	1,400,000	420,000
	解剖学講座	中野 洋輔	助 教	学生自身の手による医用画像利用と3Dプリンタ出力の解剖学教育効果の検証	700,000	210,000
	母性(助産)看護学領域	藤本 綾子	助 教	睡眠の自己調整法を活用した育児期の睡眠支援プログラムの開発	0	0
	神経内科学講座	村上 綾	助 教	神経栄養因子NRG1を標的とした脳アミロイドアンギオパチーの病態解明と治療薬の探索	600,000	180,000
	神経内科学講座	峠 理絵	講 師	セロトニン系を標的とした新規治療法開発に資するレポドバ誘発性ジスキネジア病態解明	1,300,000	390,000
	放射線科学講座	小池 優平	助 教	Dual energy CTに基づくエネルギー特異的Radiomics解析：頭頸部癌予後予測モデル開発	800,000	240,000
	内科学第二講座	堀谷 啓太	助 教	SGLT2阻害剤の免疫細胞への影響と心不全予後を改善するメカニズムの解明	1,000,000	300,000



研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 継続	小児科学講座	大町 太一	講 師	ある脱ユビキチン化酵素が標的とする転写因子の探索を通した赤血球造血機構の解明	1,000,000	300,000
	下部消化管外科学講座	小林 壽範	助 教	浸潤突起に着目した大腸直腸癌の予後不良因子"粘液腫状間質"形成メカニズムの解明	1,200,000	360,000
	救急医学講座	尾上 敦規	助 教	開放骨折症例での迅速感染症診断を可能にする超小型シーケンスシステムの確立	900,000	270,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	尹 泰貴	非常勤講師	ガレクチン1とS100A8の時空的発現不均衡からみた好酸性副鼻腔炎への新規創薬	1,100,000	330,000
	法医学講座	眞鍋 翔	助 教	人工知能による遺留DNAの由来となる個人のデータベース探索法の開発	1,000,000	300,000
	心療内科学講座	佐久間博子	研究員	看護師が行う超音波画像診断装置を用いたGastric outlet obstruction評価方法の開発	500,000	150,000
	作業療法学科	山下 円香	助 教	脳ネットワークを指標とした学習理論に基づく高齢者の認知トレーニングの開発	200,000	60,000
	理学療法学科	森 公彦	講 師	片麻痺歩行の多関節運動制御と運動学的特徴の相互連関に基づいた歩行障害の類型化	500,000	150,000
	理学療法学科	山縣 桃子	助 教	膝関節の個別化筋骨格モデルに基づいた定型化筋骨格モデルの構築	500,000	150,000
	解剖学講座	佐藤 勇輝	助 教	イモリ脊髄再生細胞の同定及びマウス脊髄損傷モデルへの応用	1,100,000	330,000
	腎泌尿器外科学講座	池田 純一	助 教	空間トランスクリプトーム解析による前立腺癌導管内浸潤マーカーの同定と機能解析	1,100,000	330,000
	基盤開発部門	大谷 拓也	助 教	EGF受容体結合ペプチドを基盤とする新規ラジオセラノスティクス薬剤の開発	2,100,000	630,000
	呼吸器腫瘍内科学講座	竹安 優貴	助 教	肺がんにおける下気道細菌叢が免疫チェックポイント阻害剤効果に及ぼす影響の解明	1,000,000	300,000
	腎泌尿器外科学講座	大杉 治之	講 師	空間トランスクリプトーム解析による小径腎細胞癌の転移予測マーカーの同定と機能解析	1,000,000	300,000
	生理学講座	王 亜偉	助 教	反応抑制を制御するサルドーバミン-線条体回路基盤：光遺伝学による解明	1,400,000	420,000
	精神神経科学講座	緒方 治彦	助 教	注意欠如・多動症特性を有するうつ病に対する薬物療法の最適化及び生物学的基盤の探索	1,000,000	300,000
	皮膚科学講座	岸本 泉	講 師	IgE依存性アレルギーマウスモデルでの好塩基球に着目した特発性蕁麻疹の病態検討	1,500,000	450,000
	麻酔科学講座	楠 宗矩	助 教	静脈麻酔薬レミナゾラムによるインスリン分泌抑制機序の解明	1,600,000	480,000
	救急医学講座	中村 文子	講 師	ラット重症熱中症モデルに対する2-methyl-2-thiazolineの効果の検討	700,000	210,000
	整形外科科学講座	朴 正旭	助 教	神経再生領域におけるバイオマーカーとしての神経誘発磁界計測のエビデンス構築	400,000	120,000
	法医学講座	榎本 祐子	助 教	microRNA網羅的検索によるOTC併用中毒の病態解明	1,100,000	330,000
	作業療法学科	砂川 耕作	講 師	認知症早期診断に向けた簡易的スマートフォン操作を用いた評価システムの開発	1,400,000	420,000
	老年看護学領域	金原 京子	講 師	介護付き有料老人ホームでの対話型ACP介入における高齢者・家族・支援者の意識変化	900,000	270,000
	理学療法学科	中尾 彩佳	助 教	筋伸張を利用した低強度トレーニング法が筋機能に及ぼす効果の検討	1,400,000	420,000
挑戦的研究(開拓) 継続	侵襲反応制御部門	小早川 高	教 授	人工冬眠・生命保護状態を誘導する感覚創薬技術による低酸素脳死の回避	6,000,000	1,800,000
挑戦的研究(萌芽) 継続	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	教 授	骨格筋量による骨折発生の予測：高齢男性骨粗鬆症コホートの4から8年後追跡研究	2,200,000	660,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	講 師	血球細胞の人為的融合システムによるサルコペニア等筋疾患の根本的治療法	1,500,000	450,000
研究活動スタート支援 継続	母性(助産)看護学領域	竹中加奈枝	助 教	妊婦の尿失禁改善に向けたPFMT動画とteach backによる介入評価：多施設RCT	500,000	150,000
	母性(助産)看護学領域	角野 美希	助 教	第1子出産後に抑うつを経験した母親の第2子周産期における抑うつ重症化の関連要因	600,000	180,000
国際共同研究強化(B) 継続	母性(助産)看護学領域	酒井ひろ子	教 授	ネパール山間農村部の母子栄養改善に向けた思春期から周産期までの介入効果の検証	4,400,000	1,320,000

(単位：円)

令和6年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学からの転入の代表者等)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
基盤研究(C)	国際がん新薬開発センター	清水 俊雄	教 授	進行癌に対する次世代抗体薬投与時サイトカインプロファイル緊急網羅的解析モデル探索	800,000	240,000	1,040,000
	基盤開発部門	近藤 直哉	講 師	標的分子への共有結合を利用した腫瘍滞留型セラノスティクス用プローブの開発	1,000,000	300,000	1,300,000
	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	池上久仁子	助 教	CXCR4/SDF-1経路の賦活による老化歯周組織の組織修復・再生能力の強化	1,000,000	300,000	1,300,000
	モデル動物部門	紀 照華	博 士 研究員	腎尿管間質病変の進行における CTRP6-PAQR シグナル伝達経路の役割	1,200,000	360,000	1,560,000
	医工学センター	PEZZOTTI Giuseppe	教 授	ラマン分光法を用いた口腔バイオフィルムの分子構造解析と高感度な迅速診断法の開発	1,200,000	360,000	1,560,000
	病理学講座	仲矢 丈雄	准教授	癌転移を抑制する抗腫瘍薬の分子作用機構解明	1,800,000	540,000	2,340,000
	テニユアトラック部門	田宮 寛之	助 教	体内時計創薬プラットフォームの開発を目指した中枢時計の系譜解析	1,800,000	540,000	2,340,000
	放射線科学講座	鶴崎 正勝	教 授	肝細胞癌に対する複合免疫療法の効果を予測する新規イメージングバイオマーカー探求	1,400,000	420,000	1,820,000
	内科学第二講座	入江潤一郎	教 授	細胞外小胞を応用した肥満糖尿病の新規治療戦略の開発	1,300,000	390,000	1,690,000
	眼科学講座	今井 尚徳	教 授	フィブリノーゲン/ICAM-1シグナル伝達に着目した糖尿病網膜症の病態解明	1,100,000	330,000	1,430,000
若手研究	がん生物学部門	森 汐莉	助 教	ミトコンドリアDNA障害が誘導するがん性悪液質の機序解明	1,500,000	450,000	1,950,000
	生理学講座	王 亜偉	助 教	反応抑制を制御するサルドーバミン-線条体回路基盤：光遺伝学による解明	2,200,000	660,000	2,860,000
挑戦的研究(萌芽)	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	講 師	血球細胞の人為的融合システムによるサルコペニア等筋疾患の根本的治療法	2,000,000	600,000	2,600,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	オルガノイドインテリジェンスの構築によるヒト脳機能の解明	2,500,000	750,000	3,250,000
研究活動スタート支援	母性(助産)看護学領域	竹中加奈枝	助 教	妊婦の尿失禁改善に向けたPFMT動画とteach backによる介入評価：多施設RCT	1,100,000	330,000	1,430,000
	母性(助産)看護学領域	角野 美希	助 教	第1子出産後に抑うつを経験した母親の第2子周産期における抑うつ重症化の関連要因	400,000	120,000	520,000
決定額(追加分)合計					22,300,000	6,690,000	28,990,000

(単位：円)

厚生労働省関係

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	微生物学講座	大隈 和	教 授	安全な血液製剤の安定供給に資する適切な採血事業体制の構築のための研究	5,550,000	270,000	5,820,000
合 計					5,550,000	270,000	5,820,000

(単位：円)

令和6年度厚生労働省その他補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
慢性疼痛診療システム均てん化等事業	心療内科学講座	水野 泰之	診療講師	慢性疼痛診療システム均てん化等事業	20,000,000	0	20,000,000
合 計					20,000,000	0	20,000,000

(単位：円)



令和6年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患政策研究事業	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	聖マリアンナ医科大学 医学部内科学(脳神経内科) 教授 山野 嘉久	200,000
	内科学第三講座	池浦 司	准教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	金沢大学 附属病院 リウマチ・膠原病内科 講師 川野 充弘	500,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	ペーチェット病に関する調査研究	学校法人杏林学園 杏林大学 医学部 消化器内科学 教授 久松 理一	200,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	神経変性疾患領域における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	日本医科大学 医学部 准教授 岳野 光洋	300,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	東京大学大学院 医学系研究科神経内科学 教授 戸田 達史	800,000
	小児外科学講座	濱田 吉則	名誉教授	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	東北大学 大学院医学系研究科 客員教授 仁尾 正記	150,000
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	理学療法学科	池添 冬芽	教 授	高齢者の身体機能低下に関する評価指標の検討、リスク要因の探索、ならびに予防法の確立に資する研究	川崎医科大学 総合老年医学 教授 杉本 研	750,000
政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業)	医療安全管理センター	宮崎 浩彰	理事兼副総括 (医療安全担当)	医療安全地域連携加算等による医療経済・医療安全上の影響の検証と効率的かつ効果的な体制構築に向けた研究	国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 上席主任研究官 種田 憲一郎	500,000
合 計						3,400,000

(単位：円)

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	整形外科科学	齋藤 貴徳	教 授	サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 糖尿病内分泌代謝科 医長 田辺 晶代	3,000,000
慢性の痛み政策研究事業	麻酔科学	中本 達夫	教 授	痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	福島県立医科大学 保健科学部 学部長 矢吹 省司	200,000
合 計						3,200,000

(単位：円)

令和6年度労災疾病臨床研究事業費補助金(分担者)一覧

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
労災疾病臨床研究事業	附属光免疫医学研究所基盤開発部門	花岡 宏史	研究所教授	光免疫療法の中皮腫への適応拡大を目指す治験	兵庫医科大学 医学部 特別招聘教授 長谷川 誠紀	2,000,000
合 計						2,000,000

(単位：円)

その他公的研究費

令和6年度 日本医療研究開発機構 (AMED)、科学技術振興機構 (JST) 等 委託費等採択一覧

※職位・所属については契約時の表記となります

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療機器等における先進的 研究開発・開発体制強化 事業	附属病院 がんセンター	金井 雅史	センター 教 授	電子カルテと連携した薬液バッ グの遠隔自動切り換え装置の開 発	代表	－	15,000,000	4,500,000	19,500,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業 ユニットタイプ「マルチセンシング ネットワークの統合的理解と制御機 構の解明による革新的医療技術 開発」研究開発領域 (AMED- CREST)	附属生命医 学研究所 侵襲反応制 御部門	小早川 高	研究所 教 授	感覚創薬技術のヒト臨床実用化 への理論基盤	代表	－	36,183,142	10,854,942	47,038,084
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業 ソロタイプ「マルチセンシングネッ トワークの統合的理解と制御機構 の解明による革新的医療技術開 発」研究開発領域	附属生命医 学研究所 テニユア トラック部 門	田宮 寛之	テニユア トラック 助 教	時計中枢オルガノイドを用いた ヒト概リズムセンシングネッ トワークの解明と個別化医療に 向けた体内時計作動薬の探索	代表	－	26,290,000	7,887,000	34,177,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	創薬支援推進事業・創薬総 合支援事業	生理学講座	林 美樹夫	講 師	イオンチャネル活性化による細 胞死誘導を利用した新規抗癌剤 の検証	代表	－	7,246,364	724,636	7,971,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	スマートバイオ創薬等研究支 援事業	附属光免疫 医学研究所 腫瘍病理学 部門	近藤 英作	学 長 特命教授	ホーミングペプチド搭載型次世 代抗腫がんペプチド医薬の技術 開発	代表	－	31,500,000	9,450,000	40,950,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補助金 「橋渡し研究プログラム」	整形外科学 講座	植田 成実	助 教	インプラント周囲感染および骨 軟部組織感染症、手術部位感染 の迅速診断と MRSA/MRCNSお よび緑膿菌に対する抗菌薬選択 が可能な遺伝子迅速検査の開発 (シーズ管理番号【A-225】)	代表	－	2,690,910	309,090	3,000,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補助金 「橋渡し研究プログラム」	麻酔科学講座	中本 達夫	診療教授	確実な深部超音波ガイド下穿刺 実現のための空間位置キャプ チャーを用いたMixed Reality ナビ ゲーションシステムの開発 (シ ーズ管理番号【A-223】)	代表	－	1,700,364	210,036	1,910,400
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補助金 「橋渡し研究プログラム」	iPS・幹細胞 再生医学講座	松岡 由和	助 教	増幅造血幹細胞製剤の開発	代表	－	2,000,000	200,000	2,200,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補助金 「橋渡し研究プログラム」	生理学講座	林 美樹夫	講 師	がん幹細胞を標的とした抗癌剤 の開発	代表	－	2,181,819	218,181	2,400,000
科学技術 振興機構 (JST)	創発的研究支援事業	附属光免疫医 学研究所 基盤開発部門	花岡 宏史	研究所 教 授	革新的内視鏡治療のための局所 投与用光免疫療法薬の創出	代表	－	6,500,000	1,950,000	8,450,000
科学技術 振興機構 (JST)	創発的研究支援事業(基金)	附属光免疫医 学研究所 基盤開発部門	花岡 宏史	研究所 教 授	創発的研究推進のための研究環 境整備	代表	－	2,770,000	831,000	3,601,000
日本学術 振興会 (JSPS)	ベトナム(OP)との共同研究 (二国間交流事業 共同研 究・セミナー)	内科学第二 講座	塚口 裕康	講 師	アジアの高い腎不全リスクの背 景にある未知なる遺伝・環境要 因の探索	代表	－	2,000,000	0	2,000,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発革新基盤創成 事業(CiCLE)	整形外科学 講座	齋藤 貴徳	教 授	脊磁計による神経機能情報を活 用した新たな診断技術の確立	分担	株式会社リコー	0	0	－
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	産科学・婦 人科学講座	岡田 英孝	教 授	HPVワクチンの長期的効果およ びキャッチアップ接種の有効性 の評価のための大規模疫学研究	分担	国立大学法人大阪大学 講師 上田 豊	0	0	－
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業 ユニットタイプ「マルチセンシ ングネットワークの統合的理解 と制御機構の解明による革新的 医療技術開発」研究開発領域 (AMED-CREST)	生理学講座	中村 加枝	教 授	感覚創薬技術のヒト臨床実用化 への理論基盤	分担	学校法人関西医科大学 研究所教授 小早川高	13,000,000	3,900,000	16,900,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	上部消化管 外科学講座	井上健太郎	診療教授	進行胃癌を対象とした大網切除 に対する大網温存の非劣性を検 証するランダム化比較第III相試 験	分担	国立研究開発法人国 立がん研究センター 科長 吉川貴己	100,000	30,000	130,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	上部消化管 外科学講座	井上健太郎	診療教授	進行食道胃接合部腺癌に対する 標準的な周術期治療の開発研究	分担	国立大学法人大阪大学 准教授 黒川幸典	50,000	15,000	65,000



所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する 革新的医薬品等開発推進研 究事業	微生物学講座	大隈 和	教 授	ゲノム情報を基盤としたHTLV-1 感染症の病態形成機序の解明及 び発症リスク予知アルゴリズム 開発に関する総合的研究	分担	国立大学法人東京大学 准教授 山岸誠	2,000,000	600,000	2,600,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する 革新的医薬品等開発推進研 究事業	微生物学講座	大隈 和	教 授	HTLV-1水平感染の動向と検査 法・検査体制の整備	分担	国立大学法人長崎大学 教授 三浦清徳	500,000	150,000	650,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	眼科学講座	大中 誠之	講 師	慢性中心性漿液性脈絡網膜症に 対するレーザー照射エネルギー 減量光線力学的療法の有効性及 び安全性を検証する医師主導治 験	分担	国立大学法人京都大学 特定講師 三宅正裕	5,000,000	1,500,000	6,500,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	障害者対策総合研究開発事業 (精神障害分野)	精神神経科学 講座	加藤 正樹	教 授	Polygenicモデルと薬物動態学に 基づく精神疾患治療反応予測法 開発	分担	国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学 教授 池田匡志	13,000,000	3,900,000	16,900,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	再生・細胞医療・遺伝子治 療研究開発課題(非臨床PoC 取得研究課題)	肝臓外科学 講座	海堀 昌樹	教 授	実用化に向けた次世代抗がん ヘルペスウイルスの非臨床と製造 工程開発	分担	国立大学法人東京大学 教授 藤堂具紀	5,000,000	1,500,000	6,500,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	乳腺外科学 講座	木川雄一郎	診療講師	ステロイドマウスウォッシュに よる乳癌化学療法誘因性の口腔 粘膜炎症予防を検討する第Ⅲ相ラ ンダム化比較試験	分担	国立大学法人長崎大学 講師 久芳さやか	40,000	12,000	52,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究 事業	附属生命医学 研究所 がん生物学部門	坂本 毅治	学 長 特命教授	B型肝炎ウイルスに対する宿主 防御機構の解明と免疫治療の開 発に資する研究	分担	国立大学法人金沢大学 准教授 水腰英四郎	9,000,000	2,700,000	11,700,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究 事業	附属生命医学 研究所 がん生物学部門	坂本 毅治	学 長 特命教授	B型肝炎ウイルス排除に向けた 新規治療法の最適化と学術基盤 の確立	分担	国立大学法人金沢大学 教授 本多政夫	10,000,000	3,000,000	13,000,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	再生医療等実用化研究事業	胆臓外科学 講座	里井 壯平	教 授	悪性腹水を伴う microsatellite stable(MSS)の進行期消化器癌 (胃癌・膵癌)患者に対する GAIA-102 の腹腔内反復投与の 医師主導治験 (PhaseI/II)	分担	国立大学法人九州大学 教授 米満吉和	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医薬品等規制調和・評価研 究事業	医療安全管 理センター	徳永あゆみ	センター 准教授	緊急的な状況における薬事行政 と市民の相互理解に寄与するコ ミュニケーション法の検討	分担	国立大学法人大阪大学 助教 北村温美	123,200	36,960	160,160
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第三 講座	長沼 誠	教 授	レジストリを活用したペーチェ ット病の予後不良病型発症予防 のためのtreat-to-target開発	分担	公立大学法人 横浜国立大学 講師 桐野洋平	200,000	60,000	260,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	創薬支援推進事業・創薬総 合支援事業	生理学講座	林 美樹夫	講 師	インテグリン阻害による新規神 経膠芽腫治療薬の探索	分担	国立大学法人 京都大学 特定助教 池田幸樹	3,200,000	320,000	3,520,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	附属光免疫医 学研究 基盤開発部門	花岡 宏史	研究所 教 授	Podoplaninを標的としたヒトリ ンバ管腫(リンパ管奇形)に対す る光免疫療法の開発	分担	学校法人慶應義塾 教授 藤野明浩	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	心療内科学 講座	蓮尾 英明	教 授	がん患者のオピオイド不応の神 経障害性疼痛への標準的薬物療 法の開発：国際共同試験ならび に普及実装に向けた研究	分担	国立がん研究センター 科長 松岡弘道	300,000	90,000	390,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	神経内科学 講座	薬師寺祐介	教 授	ロ メリ ジン 塩 酸 塩 による CADASIL患者に対する脳虚血イ ベント再発抑制	分担	京都府公立大学法人 京都府立医科大学 講師 尾原知行	50,000	15,000	65,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	呼吸器腫瘍 内科学講座	吉岡 弘鎮	准教授	進展型小細胞肺癌に対する新た な治療開発を目指した研究	分担	学校法人獨協学園 教授 仁保誠治	500,000	150,000	650,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	呼吸器腫瘍 内科学講座	吉岡 弘鎮	准教授	微小な胸膜播種を有する臨床病 期IVA期非小細胞肺癌に対する 原発巣切除追加の治療的意義を 検証するランダム化比較第Ⅲ相 試験	分担	学校法人慶應義塾 准教授 菱田智之	3,000,000	900,000	3,900,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	呼吸器腫瘍 内科学講座	吉岡 弘鎮	准教授	高齢者切除不能局所進行非小 細胞肺癌に対する化学放射線療法 のランダム化比較第Ⅲ相試験	分担	静岡県立静岡がんセンター 副院長兼呼吸器内科部長 高橋利明	500,000	150,000	650,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的医療技術研究開発推 進事業	附属病院 がんセンター	朴 将源	診療講師	患者由来がん幹細胞培養を基盤 とした革新的個別化医療開発	分担	国立大学法人京都大学 教授 小濱和貴	923,000	276,900	1,199,900

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補助金 優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業	救急医学講座	島崎 淳也	講 師	医療側と企業側双方を対象とした双方向的開発人材育成拠点の整備	分担	国立大学法人大阪大学 教授 土岐祐一郎	390,000	117,000	507,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	呼吸器腫瘍 内科学講座	倉田 宝保	教 授	JCOG2111A根治的治療可能な非小細胞肺癌を対象としたMinimal Residual Diseaseの検出と予後を評価する前向き観察研究	分担	国立研究開発法人国立がん研究センター 病棟医長 堀之内秀仁	500,000	150,000	650,000
農研機構 生研支援 センター (BRAIN)	イノベーション創出強化研究推進事業	リハビリテーション 医学講座	菅 俊光	診療教授	持続的安定供給可能な水産資源を活用した医食連携によるフレイル対策及び栄養介入法の確立と、有用成分を含有する次世代機能性水産資源のリスト化を通じた国内水産業活性化への寄与	分担	国立大学法人愛媛大学 教授 岸田太郎	700,000	210,000	910,000
福島国際 研究教育 機構 (F-REI)	RIで標識した診断・治療薬に関する研究開発	附属光免疫 医学研究所 基盤開発部門	花岡 宏史	研究所 教 授	福島復興を加速する多機関連携によるRI医薬品の開発	分担	福島県立医科大学 教授 織内昇	8,890,000	889,000	9,779,000
合 計								215,528,799	58,556,745	274,085,544

(単位：円)

その 他 外 部 資 金

令和6年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

令和6年度に採択された各種助成財団による研究助成金を下記の研究者が受贈されました。(大学を通じての申請分を掲載)

※受贈者の職位は採択時のものです。

研究助成法人・団体等	研究助成名	講座等	氏名	職位	研究課題等	助成額等
一般財団法人東洋水産財団	2024年度学術奨励金	衛生・公衆衛生学 講座	村上 由希	講 師	魚肉由来タンパク質摂取による腸管バリア機能を介した脳機能低下の予防メカニズムの解明	2,000,000
一般財団法人日本漢方医学教育振興財団	2024年度漢方医学教育研究助成	心療内科学講座	蓮尾 英明	教 授	全人的医療としての漢方医学の有用性の体験的気づきを通して医学生が医療者と協働して開発する教育ビデオ	1,200,000
一般財団法人リディアオリリー記念ピアス皮膚科学振興財団	令和6年度指定課題研究助成金	形成外科学講座	覚道奈津子	教 授	多血小板血漿(Platelet-Rich-Plasma:PRP)の育毛効果・白髪予防効果の検討	1,000,000
一般社団法人 日本私立看護系大学協会	若手研究者研究助成	看護学部 母性 (助産)看護学領域	園田 希	講 師	日本版「包括的中絶ケアの指針」作成を目指したWHOガイドラインに基づく中絶後ケアの実態調査	500,000
一般社団法人日本血液学会	2024年度研究助成	iPS・幹細胞再生 医学講座	松岡 由和	助 教	ヒト造血幹細胞の体外無限増幅法の開発	500,000
一般社団法人日本血液学会	2024年度研究助成	内科学第一講座	佐竹 敦志	准教授	Mint3を標的とした移植片対宿主病に対する新規制御法開発のための基礎的研究	300,000
一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会	CVITアカデミックサポート	内科学第二講座	安達賢太郎	助 教	3Dプリンタ冠動脈モデルを用いたRota wire の差異が回転性アテレクトミーに与える影響の検証	300,000
一般社団法人日本先天代謝異常学会	ライソゾーム病に関連する研究費の公募事業(サノフィLSDグラント)	看護学部 こども 看護学領域	古藤 雄大	講 師	ファブリー病患者のQOLと外気温変化における関連：縦断的観察研究	600,000
一般社団法人日本臨床精神神経薬理学会	Young Researcher賞	精神神経科学講座	緒方 治彦	助 教	うつ病患者における末梢血中の循環ミトコンドリアDNAのコピー数とマイクロRNA発現量の関連	500,000
公益財団法人 三井住友海上福祉財団	令和6年度研究助成 高齢者福祉分野	リハビリテーション 学部 作業療法学科	宮原 智子	助 教	高次脳機能障害者の就労継続に必要な要因に関する研究	290,000
公益財団法人今井精一記念財団	2024年度(第5回)研究助成	脳神経外科学講座	磯崎 春菜	病院助教	脊髄髄膜瘤の予防に向けた脊椎形成機構の解明	1,500,000
公益財団法人上原記念生命科学財団	2024年度研究助成	神経機能部門	小早川令子	教 授	マイナス痛み感覚誘導性鎮痛薬	5,000,000
公益財団法人大阪腎臓バンク	令和6年度腎疾患研究助成	小児科学講座	山内 壮作	講 師	小児の特発性ネフローゼ症候群における腸内細菌叢の乱れとステロイド抵抗性の関連	200,000
公益財団法人大阪対がん協会	2024年度がん研究助成奨励金	腎泌尿器外科学講座	佐藤 五郎	大学院生	膀胱癌に対する光免疫治療薬の研究、開発	300,000



研究助成法人・団体等	研究助成名	講座等	氏名	職位	研究課題等	助成額等
公益財団法人大阪対がん協会	2024年度がん研究助成奨励金	リハビリテーション学部 理学療法学科	福島 卓矢	助 教	化学療法誘発性末梢神経障害への新たな治療開発に向けた基盤的研究	300,000
公益財団法人大阪難病研究財団	2024年度(第30回)医学研究助成	胆臓外科学講座	松井 雄基	大学院生	肝臓腹膜播種に対する光免疫療法のターゲットの探索と新規治療法の開発	1,000,000
公益財団法人大阪認知症研究会	海外派遣助成	神経内科学講座	村上 綾	助 教	The 2024 100th Annual Meeting of American Association of Neuropathologists(アメリカ)への海外派遣	200,000
公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団	第36回(2024年度)加藤記念研究助成	侵襲反応制御部門	松田 烈士	研究員	先天的恐怖情動による新たな痛覚ゲーティング機構	2,000,000
公益財団法人川野小児医学奨学財団	令和6年度研究助成<若手枠>	脳神経外科学講座	磯崎 春菜	助 教	脊髄髄膜瘤の予防に向けた責任遺伝子の解明	800,000
公益財団法人がん研究振興財団	令和6年度がん研究助成	小児科学講座	大町 太一	講 師	メタバースを活用した小児がんサバイバーがつながり合う空間の開発	500,000
公益財団法人喫煙科学研究財団	令和6年度(2024年度)研究助成	モデル動物部門	村山 正承	講 師	表皮角化細胞の表示恒常性維持機構に着目した、nAChRsによる乾癬治療薬・治療法の開発	500,000
公益財団法人喫煙科学研究財団	令和6年度(2024年度)研究助成	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助 教	造血系ヒト化マウスを用いたダイオキシン類のヒト胎児・新生児造血細胞への影響の解析	2,000,000
公益財団法人喫煙科学研究財団	令和6年度(2024年度)研究助成	生体情報部門	住吉 麻美	助 教	CD8+T細胞におけるニコチン・ニコチン受容体の役割解明と疾患治療への応用可能性	500,000
公益財団法人小林財団	第13回(令和6年度)研究助成	肝臓外科学講座	小坂 久	講 師	Electrical Muscle Stimulation を用いた在宅セルフリハビリテーションが高齢がん患者のサルコペニアを改善する機序の検討	4,000,000
公益財団法人武田科学振興財団	2024年度ビジョナリーリサーチ助成(スタート)	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教 授	両側性脳オルガノイドによる非対称大脳の再現	2,000,000
公益財団法人武田科学振興財団	2024年度医学系研究助成(がん領域(臨床))	呼吸器腫瘍内科学講座	竹安 裕貴	助 教	進行期固形がんにおける免疫関連有害事象の新規治療戦略の開発	2,000,000
公益財団法人武田科学振興財団	2024年度医学系研究助成(がん領域(臨床))	放射線科学講座	小池 優平	助 教	人工知能によるDelta radiomics特徴量に基づいた新規バイオマーカーの開発:非小細胞肺癌における免疫療法効果予測への助成	2,000,000
公益財団法人ニッポンハム食の未来財団	2024年度研究助成事業 個人研究助成	小児科学講座	赤川 翔平	講 師	水溶性食物繊維(イヌリン)を用いた重症心身障がい児の腸内細菌叢改善によるアレルギー予防戦略の開発	2,000,000
公益財団法人日本応用酵素協会	2024年度IRGG研究助成	内科学第三講座	八木 直人	研究医員	炎症性腸疾患における重症化・難治化予測に関する 血小板関連新規バイオマーカーの探索	500,000
公益財団法人マルホ・高木皮膚科学振興財団	医学・薬学に関する研究活動への支援	皮膚科学講座	谷崎 英昭	教 授	アトピー性皮膚炎における2型自然リンパ球の紫外線照射下における活性化調節機構の解明	1,500,000
公益財団法人三重医学研究振興会	令和6年度医学研究助成「緑の風記念三重医学研究振興会賞」	病理学講座	内田 克典	診療教授	各種がんの特性に応じた多面的臨床病理学的評価による予後判定法の構築	250,000
公益社団法人日本女医会	第44回学術助成	神経内科学講座	村上 綾	助 教	Erb受容体を標的としたアルツハイマー病の病態解明	300,000
特定非営利活動法人deleteC	2024年度deleteC がん治療研究助成	附属光免疫医学研究所 腫瘍病理学部門	近藤 英作	学 長 特命教授	次世代創薬モダリティPDC、ナノ化学融合ペプチド技術で挑む肝臓がん治療	5,000,000
特定非営利活動法人日本緩和医療学会	2024年度 緩和ケアに関する研究助成	心療内科学講座	蓮尾 英明	教 授	がん皮膚浸潤によるがん疼痛に対するリドカイン軟膏の有効性と安全性に関する無作為化二重盲検プラセボ対照クロスオーバー比較試験	3,000,000
認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク	2024年度ゴールドリボン研究助成	小児科学講座	松野 良介	准教授	小児がん患児の日本版WISC-Vと日本版DN-CASによる認知機能評価	750,000

(単位:円)

附属病院

食道がん患者会「藤見の会」

5月16日(金) 15時30分から附属病院13階講堂において、藤見の会が開催されました。藤見の会は、食道がん術後や闘病中の患者さんとそのご家族のための交流の場と情報の提供を目的とした会です。第10回目の開催となる今回は、患者さんとそのご家族27名が参加。はじめに、医学部上部消化管外科学講座山崎誠教授による「自宅でできるがん治療②」と題した講演と簡単な体力検査が行われました。続いて、附属病院6階屋上庭園に移動しラジオ体操を行った後、医学部棟3階学生食堂で参加者交流会が行われました。グループごとに自身の経験や日々の生活のことなどが話し合わせ、温かい交流の場となりました。



屋上庭園でのラジオ体操の様子

附属病院

沖縄美ら海水族館遠隔授業

6月24日(火) 14時15分から附属病院5階こども病棟カンファレンスルームにおいて、小児患者さん支援の一環として附属病院がんセンターAYA世代支援チームの主催で「沖縄美ら海水族館遠隔授業」が開催されました。これは沖縄美ら海水族館が教育普及プログラムとして無料で実施しているもので、施設とのオンライン中継で海の生き物について学ぶ遠隔授業を行っています。今回は、こども病棟入院中の患者さんら27名が参加。テーマは複数ある中からの選択制となっており、「イルカクイズ&一緒に楽しむイルカパフォーマンス!」が選ばれました。可愛らしいイルカの姿がスクリーンに映し出され、飼育員によるクイズが行われたり、子どもたちの掛け声を合図にイルカがパフォーマンスを披露したりと大いに

盛り上がりしました。参加者からは「イルカはどうやって寝るの?」などの質問があがっていました。



スクリーンに映ったイルカに見入る参加者たち

総合医療センター

淀川水防・大阪府地域防災総合演習

5月24日(土) 9時から、淀川河川敷(大阪市旭区)において淀川水防・大阪府地域防災総合演習が開催され、総合医療センターから、医師1名看護師2名業務調整員1名で構成されるDMAT(災害派遣医療チーム)隊1隊が参加しました。本訓練は、国土交通省主催のもと幅広い機関が協同で訓練し、地域社会への防災知識の普及、防災意識の向上及び災害対処能力の更なる向上を図る目的で実施されたものです。

DMATとして参加した救急医学科岩村拓診療講師らは、台風の影響により淀川堤防が決壊に至り、家屋の倒壊、水没、浸水など大規模な被害が発生したとの想定のもと、各機関と連携し、トリアージポストに搬送されてきた救助者へのトリアージや、緊急度に応じた応急救護

所での措置などの医療活動が行われました。



医療活動にあたるDMAT隊員ら

総合医療センター

第27回市民健康講座

6月21日(土) 14時から、鶴見区民センター小ホール(大阪市鶴見区)において第27回市民健康講座が開催され、100名が来場しました。菅俊光副病院長による開会挨拶の後、上部消化管外科・腹部ヘルニア・機能外科センター齊藤卓也部長・センター長の「放置は禁物！お腹のふくらみを侮るなかれ～鼠径・腹部ヘルニアを早期に見つけて治す～」、心臓外科岡田隆之部長の「心臓外科医がみた人生100年時代～その症状、心臓からのサインかも？～」、糖尿病センター豊田長興センター長の「糖尿病診療～新時代の到来！～」の3題が講演されました。



参加者の質問に答える岡田部長

総合医療センター

ミニ市民健康講座

4月10日(木) 15時から、旭区民センター集会室(大阪市旭区)においてミニ市民健康講座が開催され、30名が来場しました。初めに消化器肝臓内科豊永啓翔助教が「膵臓がんについて」と題して講演。続いて関医訪問看護ステーション・滝井 寺口めぐみ看護師長が「おうちでできる医療サポート～訪問看護の活用法～」と題して訪問看護ステーションのサービス内容や利用方法を紹介しました。その後、地域医療連携部による総合医療センターの紹介と看護師による健康相談会が行われました。

また本誌掲載期間中、下記日程でミニ市民健康講座が実施されました。



講演を行う豊永助教

5月21日(水) 14時～15時 大道南会館(大阪市東淀川区) 参加者：35名	「トイレ(排尿)と生活の質」 腎泌尿器外科 小糸 悠也 助教
6月25日(水) 15時～16時 北部コミュニティセンター(守口市) 参加者：28名	「あなたの骨、大丈夫？～シニア世代に伝えたい骨の話～」 整形外科 山本 慶 助教

香里病院

市民公開講座

5月17日(土) 14時から、アルカスホール(寝屋川市立地域交流センター)(寝屋川市)において、「生活習慣病」をテーマとした春の市民公開講座が開催され、市民ら195名が参加しました。

岡崎和一病院長の挨拶の後、市民公開講座委員会延山誠一委員長が座長を務め、副病院長・腎臓病センター高橋延行センター長が「慢性腎臓病(CKD)をご存知ですか？」を講演。続いてリハビリテーション科三樹博史理学療法士による健康体操の実演が行われた後、総合診療科尾下寿彦講師による「あなたの血管は大丈夫？～いい油、わるい脂(アブラ)のはなし～」が講演されました。

看護師による健康相談会も開催され、盛況のうちに閉会しました。



健康体操に取り組む参加者たち

くずは病院

防犯訓練

4月28日(月)15時からくずは病院において、地元の枚方警察署の協力を得て、防犯訓練が実施されました。刃物を使用した傷害事件の発生から警察官による制圧・逮捕までを想定し、スタッフによる警察への通報、被害者の搬送、周辺患者の避難誘導、犯人への対応を行いました。その後、枚方警察署による講評と刺股の使用訓練、護身術の実践が行われ、防犯に対する職員の意識を高める貴重な機会となりました。



防犯訓練の様子

卒後臨床研修センター



令和8年度採用専門研修プログラム説明会

5月17日(土)14時から枚方キャンパス医学部棟3階学生食堂において、令和8年度採用専門研修プログラム説明会が開催されました。

説明会では、卒後臨床研修センター伊藤量基センター長による新専門医制度の概要説明の後、本学の研修医68名、他病院研修中の研修医8名の合計76名が18ブースに分かれて各科のプログラムについて説明を聞き、専門研修への理解を深めました。

なお、説明会終了後、臨床研修説明会との合同情報交換会を開催し、大盛況のうちに終了しました。



各科ブースで理解を深める研修医

令和8年度採用医学生対象説明会「研修医と語ろう会」

5月17日(土)14時30分から、枚方キャンパス医学部棟2階第3講義室において、令和8年度採用研修医を対象とした臨床研修説明会「研修医と語ろう会」が開催されました。

今年度は対面形式での開催とし、本学学生21名、他大学学生21名の合計42名が参加しました。

説明会では、卒後臨床研修センター伊藤量基センター長による臨床研修概要説明の後、研修医4名による研修内容や研修生活についての説明が行われました。

なお、説明会終了後、専門研修プログラム説明会との合同情報交換会を開催し、大盛況のうちに終了しました。



伊藤センター長による説明



第3回リカレントスクール修了生の集い

6月26日(木) 10時から枚方キャンパス医学部棟4階中会議室において、関医・看護師リカレントスクール修了生の集いが開催されました。3回目となった今回は、13名が参加。看護キャリア開発センター牛嶋百合子センター長による開会挨拶の後、看護キャリア開発センター看護師就業・復職支援部門瀬戸奈津子部門長(看護学部慢性疾患看護学領域教授)により「生活者として働き続けるために」と題した講演が行われました。その後の交流会では自身の近況報告に加えて復職のハードルを乗り越えた数々の体験が述べられ、お互いを激励する様子が見られました。最後に安田照美統括看護部長の開会挨拶で

締めくくられ、同期生のみならず、修了生全体で交流が深まる催しとなりました。



瀬戸部門長の講演

看護師のための復職支援

関医・看護師リカレントスクール 第9期生募集!!

開講期間 10月1日(水)～12月3日(水)

募集対象 ▶ 復職を目指す離職中の看護師

定員 ▶ 10名程度 **受講料** ▶ 8,000円(実費相当)

- ◆ 講義はリモート! e-ラーニングによる多様な学習を自宅で
- ◆ 最新の医療や看護の知識と技術の習得が可能
- ◆ 就職相談・個人面談の実施で、復職への不安を軽減

関西医科大学 看護キャリア開発センター
TEL 072-804-2849



応募フォーム



経験が力になる

総合医療センターに予防医療センターを開設

関西医科大学総合医療センターでは、新たに「予防医療センター」が開設されました。

病気を早く見つけて、早く対処することは健康寿命を延ばす第一歩です。病気の予防と早期発見のために、大学病院の強みを活かした安心・安全な人間ドックを提供いたします。

コース一覧 ■ 一般的な人間ドックに加えて、より専門的で精度の高い検査の受診が可能です。

- 人間ドック標準コース ● 人間ドック精密コース ● 脳ドック ● 脾がんドック ● 肺がんドック
- 心臓ドック ● PET-CT ドック

創立記念日の6月30日の正午には、医学部棟正面にあるオベリスクの側面のスリットから光が差し込み、銘板に刻まれた関西医科大学の名称が照らされます。このオベリスクは医学部学舎開設時に記念として建てられたもので、高度で精緻な設計技術により実現したモニュメントです。快晴となった2025年の記念日当日は、理事長をはじめとする教職員が集まり、太陽光が銘板を照らし出す様子を見守りました。





学会主催報告

令和7年4月～6月、本学が主催および事務局を務めた主な学会を紹介します。

日本生理人類学会第86回大会

■会 期 令和7年5月9日(金)～11日(日)

■場 所 枚方市総合文化芸術センターおよび関西医科大学枚方キャンパス

■テーマ 環境適応能と生理的多型性

第86回大会では、特別講演Ⅰで本学の日笠幸一郎先生に「最新のゲノム解析研究」についてご講演いただき、特別講演Ⅱで奈良県立医科大学の佐伯圭吾先生をお招きして「居住環境と循環器機能の疫学研究」についてご講演いただきました。生理人類学の発展に新風を吹き込んでもらえたと確信しております。

【大会長：医学部衛生・公衆衛生学講座 甲田勝康 教授】



学会賞等受賞情報

令和7年4月～6月の学会賞受賞者等を紹介します。

日本病理学賞

附属光免疫医学研究所腫瘍病理学部門

近藤 英作 学長特命教授

■テ ー マ 病理組織分析に基づく難治がん標的ナノメディシン研究の展開 ～次世代ドラッグデリバリー技術への挑戦～

■授与団体 第114回 日本病理学会総会



日本内分泌外科学会雑誌最優秀論文賞

医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

宇都宮 敏生 助教

■テ ー マ 本邦で報告された転移性甲状腺腫瘍の治療指針に対する検討

■授与団体 第37回日本内分泌外科学会総会



PCN Reviewer Awards

医学部精神神経科学講座

嶺北 佳輝 診療教授

■受賞理由 PCN誌の査読に尽力し、その発展に著しく貢献したため

■授与団体 第121回日本精神神経学会学術総会



優秀演題賞

医学部麻酔科学講座

金沢 路子 助教

■テ ー マ 妊娠高血圧症候群における脳ネットワーク変化：安静時機能的MRIによる前向き研究

■授与団体 日本麻酔科学会 第72回学術集会



2024年度Journal of Plastic and Reconstructive Surgery誌 優秀論文賞

医学部形成外科学講座

益岡 弘 講師

■テ ー マ Inclination of the lip and nose during resting and lip protrusion in children with unilateral cleft lip

■授与団体 第68回日本形成外科学会総会・学術集会



優秀演題賞

医学部呼吸器腫瘍内科学講座

勝島 詩恵 助教

■テ ー マ EPCRC基準とAWGC基準で診断した化学療法中の肺癌患者における悪液質の予後比較

■授与団体 第12回日本カヘキシア・サルコペニア学会学術集会



研修医最優秀演題賞

医学部内科学第一講座

酒井 なつみ 研修医

■テ ー マ 左房粘液腫に伴うフィブリン関連大細胞型B細胞リンパ腫の一例

■授与団体 第122回近畿血液学地方会



Best of Posters

医学部iPS・幹細胞再生医学講座

金川 竜也 大学院生

■テ ー マ Reproduction of pathology in Gelatinous Drop-Like Corneal Dystrophy using patient-derived iPS cells

■授与団体 欧州眼科学会(SOE 2025)



最優秀奨励賞

医学部小児科学講座スチューデント・アシスタント(医学部6学年)

伊藤 綾華 さん

■テ ー マ 小児期の夜尿症は若年成人期の過活動膀胱のリスクである

■授与団体 第36回日本夜尿症・尿失禁学会学術集会



第54回日本脊椎脊髄病学会最優秀論文賞

医学部整形外科科学講座

石原 昌幸 助教

■テ ー マ 成人脊柱変形に対するcircumferential minimally invasive surgeryにおける術後PI-LL<10°達成条件はLLIF後PI-LL<20°である

■授与団体 第54回日本脊椎脊髄病学会学術集会



2024年日本脊椎脊髄病学会最優秀論文賞

医学部整形外科科学講座

谷 陽一 助教

■テ ー マ 腰仙椎固定術が術後の日常生活(ADL)に及ぼす影響-固定椎間数と脊椎不撓性ADL指数-

■授与団体 第54回日本脊椎脊髄病学会学術集会



Outstanding peer reviewer

看護学部子ども看護学領域

古藤 雄大 講師

■受賞理由 JBI Evidence Synthesis誌の査読者として卓越した活動が続けているため

■授与団体 JBI Evidence Synthesis



※特に記載がない限り、本誌記載の職位は取材当時の内容です。



教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介します。（主に令和7年4月1日～6月30日 ※判明分のみ）

■ テレビ等

附属病院アレルギーセンター 小林 良樹 センター長	談売テレビ「サタデーLIVEニュースジグザグ」 (4月5日)	「大人の食物アレルギー」の特集でアレルギーセンターで行ったブリックテストの検査から結果までの様子と小林センター長の食物アレルギーに関するコメントが放送されました。
医学部内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ「旬感LIVE とれたてっ!」 (4月7日)	「百日ぜき」を取り上げたコーナーで宮下診療教授による解説や感染対策に関するコメントがパネルで放送されました。
看護学部精神看護学領域 三木 明子 教授	朝日放送テレビ「ニュースおかえり」 (4月22日)	「バイシエントハラスメント」についての特集で三木教授によるハラスメントの実態と対策に関するコメントがパネルで放送されました。
附属生命医学研究所分子遺伝学部門 清末 優子 学長特命教授	NHK総合「人体E-第1集 命の源 細胞内ワンダーランド」 (4月27日)	清末学長特命教授が撮影した免疫細胞ががん細胞を攻撃する様子の映像が映像提供クレジット付きで放送されました。
医学部IPS・幹細胞再生医学講座 服部 文幸 研究教授	あまみエフエム デイウェイヴ「ひまじんしよーな」 (5月4日)	服部研究教授がラジオレターのコーナーに電話出演し、大阪・関西万博でのヒトiPS細胞を用いた指先再生発表内容について解説しました。
総合医療センター	日本テレビ「1億人の大質問!? 突ってコラえて!」 (5月31日)	総合医療センターで出産された方への密着取材が行われ、栗本助教授らの診療風景や、出産の様子が放送されました。
総合医療センター	テレビ大阪「誰も知らんキング」 (6月28日)	京阪滝井駅、土居駅の開業時の様子を紹介するコーナーで大阪女子高等医学専門学校附属病院(現：総合医療センター)当時の写真が本学の提供クレジット付きで放送されました。

■ WEBメディア等

医学部小児科学講座 金子 一成 教授	livedoor News (4月1日)	「子どもの感染と免疫力」に関する意識調査に関する記事で、金子教授の免疫の役割について、子どもの免疫力を育む新たな考え方など述べた記事が掲載されました。
大学院医学研究科イノベーション再生医学 服部 文幸 研究教授	QLifePro (4月10日)	服部研究教授らの研究チームがコロナ後遺症と全身性エリテマトーデスの類似性を示した研究結果を発表した旨が掲載されました。
医学部小児科学講座 赤川 翔平 講師	日経バイオテック (4月11日)	赤川講師らの研究チームが、鶏卵アレルギーを有する小児の腸内細菌叢を解析し、腸内細菌叢を構成する細菌のうち酪酸産生菌が豊富な小児では将来の鶏卵アレルギーの寛解率が高いことを発見した旨が掲載されました。
医学部内科学第三講座 長沼 誠 教授	日経バイオテック (4月14日)	長沼教授らの研究チームが、難病に指定されている潰瘍性大腸炎のうち生物学的製剤未使用例に対して多施設共同無作為比較試験を行い、生物学的製剤の短期的治療効果を明らかにしたことが掲載されました。
附属光免疫医学研究所 木梨 達雄 学長 小林 久隆 所長	大阪NEWS「テレビ大阪ニュース」 (4月15日)	光免疫医学研究所と島津製作所が実施する世界初の臨床研究について行った記者会見で、木梨学長による光免疫療法の特長や小林所長による研究の概要発表の様子が放送されました。
附属光免疫医学研究所 山下 敏夫 理事長 木梨 達雄 学長 小林 久隆 所長 八木 正夫 教授	共同通信・埼玉新聞・東京新聞・中日新聞・西日本新聞・山陽新聞・高知新聞・宮崎日日新聞(4月15日) innavinet・朝日新聞(4月16日) 日経バイオテック(4月17日)	光免疫医学研究所と島津製作所が実施する世界初の臨床研究について、記者会見の様態と山下理事長、木梨学長、八木教授、小林所長それぞれのコメント、研究概要が掲載されました。
医学部小児科学講座 大町 太一 講師	週刊大阪日日新聞 (4月22日)	大町講師が小児がん患者さん向けのメタバース交流アプリ開発の費用を募ったクラウドファンディングで目標金額を達成したこと、プロジェクトの概要が掲載されました。
教育センター 西屋 克己 センター教授	m3.com (4月22日)	西屋センター教授が手掛けた「臨床研修医のキャリアデザイン」の書籍制作背景や著書内容に関するインタビュー記事が掲載されました。
医学部小児科学講座 赤川 翔平 講師	大学ジャーナルオンライン (4月23日)	赤川講師らの研究チームが、鶏卵アレルギーを有する小児のうち、腸内細菌叢に酪酸産生菌が豊富な患児は、将来の鶏卵アレルギーの寛解率が高いことを発見した旨が掲載されました。
医学部内科学第三講座 池浦 司 准教授	QLifePro (4月25日)	池浦准教授らの研究グループが、無症状の膠原病の患者に対して内視鏡的治療の現状を調査し、内視鏡による治療介入のメリット、デメリットを明らかにしたことが掲載されました。
教育センター 西屋 克己 センター教授	m3.com (5月6日)	西屋センター教授が、自身のこれまでのキャリア、医学教育の分野で力を入れていることや今後の展望について語った記事が掲載されました。
附属光免疫医学研究所	日本経済新聞 (5月18日)	大阪・関西万博において「光免疫療法」の最先端の研究を紹介するセミナーを開催した旨が掲載されました。
医学部薬理学講座 中野 智之 教授	日経バイオテック (5月20日)	中野教授と筑波大学他との共同研究において、血管内皮細胞の異常とマクロファージの集積が動脈硬化の発症を促進すると発見したことが掲載されました。
関西医科大学	ANSAIt English (イタリア) (5月29日) KYODO NEWS PRWIRE (5月30日)	大阪・関西万博2025のイタリア館でイタリア大学・研究者(MUR)とイタリア大学長会議(CRUI)によるミッションが開始され、本学とヴェネツィア・カッポスカリ大学、ローマ・ラ・サピエンツァ大学との間で学術連携包括協定の締結を発表したことが掲載されました。
関西医科大学 木梨 達雄 学長	ANSAIt (イタリア) (5月29日)	大阪・関西万博2025のイタリア館でのイタリア大学・研究者(MUR)とイタリア大学長会議(CRUI)によるミッション中での、木梨学長による話が掲載されました。
総合医療センター 中森 靖 副病院長	m3.com (6月4日)	ハイブリッドER開発者である中森副病院長へのインタビューの第1回目として、開発・運用の経緯や今後の展開について語った記事が掲載されました。
総合医療センター 中森 靖 副病院長	m3.com (6月11日)	ハイブリッドER開発者である中森副病院長へのインタビューの第2回目として、自身が救急医を目指したきっかけや、救急現場で使用するシステム開発への取り組みなどについて語った内容が掲載されました。
総合医療センター 中森 靖 副病院長	m3.com (6月18日)	ハイブリッドER開発者である中森副病院長へのインタビューの第3回目として、総合医療センター救命救急センターの運営体制や診療の特徴、働き方改革への対応などについて掲載されました。
医学部病理学講座 松浦 徹 講師	共同通信 (6月24日)	松浦講師が、甘みやうまみを感じる舌の細胞の数が夜よりも朝に多いことをマウスを用いた実験で発見したことが、同講師のコメントと合わせて掲載されました。
医学部内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	日経メディカル (6月25日)	第99回日本感染症学会総合・学術講演会シンポジウム「呼吸器疾患と感染症」での、肺非結核性抗酸菌(肺NTM症)を持つ喘息患者さんへの治療に関する宮下診療教授の解説が掲載されました。

■ 新聞・雑誌等

医学部精神神経科学講座 舘北 佳輝 診療教授	精神科臨床 Legato vol.11/No.1 (4月1日)	治療抵抗性統合失調症の最新の知見と治療の現状、新たな治療アプローチに関する舘北診療教授の解説記事が掲載されました。
看護学部こども看護学領域 古藤 雄大 講師	JB1 Evidence Synthesis (4月1日)	古藤講師が編集者を務めるジャーナル「JB1 Evidence Synthesis」において2025年度優秀査読者として選出され、論文は執筆者だけではなく査読によって改善されるという古藤講師のコメントと合わせて掲載されました。
医学部小児科学講座 大町 太一 講師	毎日新聞 朝刊 (4月5日)	大町講師がクラウドファンディングで開発費用を募っている小児がん患者さん向けのメタバースでの交流アプリについて、構想の概要と、大町講師および作成のきっかけの一つとなった患者さんのインタビューが掲載されました。
附属光免疫医学研究所 山下 敏夫 理事長 木梨 達雄 学長 小林 久隆 所長 八木 正夫 教授	産経新聞 朝刊・日経新聞・京都新聞 朝刊・読売新聞 夕刊(4月16日) 日刊工業新聞・神戸新聞 朝刊(4月17日) INNERVISION 第40巻(4月25日) 日本経済新聞 朝刊(4月30日) 毎日新聞 朝刊(6月2日)	光免疫医学研究所と島津製作所が実施する世界初の臨床研究について、記者会見で発表した研究概要や新たに開発した手法のほか小林所長、木梨学長のコメントなどが掲載されました。
医学部小児科学講座 大町 太一 講師	産経新聞 朝刊 (4月23日)	現在第2目標を目指す小児がん患者さん向けメタバースでの交流アプリ開発のためのクラウドファンディングについて、アプリの特長のほか、大町講師と患者さんのインタビュー記事が掲載されました。
医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科科学講座 鈴木 健介 准教授	読売新聞 朝刊 (4月27日)	鈴木准教授が甲状腺がんの特徴、治療法、手術のポイントについて述べたほか、本学附属病院での取り組みが紹介されました。
関西医科大学	毎日新聞 朝刊 (4月30日)	医師が不足する地域への人材供給を目的とした入試制度「地域枠」を紹介した記事の中で、学生の負担軽減に取り組む私立大学の事例として本学が紹介されました。
総合医療センター救急医学科 中森 靖 診療教授	読売新聞 朝刊 (5月14日)	CT検査を特集した記事の中で、中森診療教授の発案によりハイブリッドERが誕生し、重症外傷患者さんに対する迅速で確かな治療が可能になったことが掲載されました。
附属光免疫医学研究所 小林 久隆 所長	週刊医学のあゆみ (5月24日)	小林所長による、光免疫療法の臨床現場での現状や理論的基盤、効果に関する詳細な解説が掲載されました。

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

編集後記

今年は各地で最早の梅雨明けとなりました。雨の日が少なかったこともあり、農作物への影響が少し心配です。

蒸し暑い日々が続きますが、体調には十分気を付けながら、花火大会やお祭りなど夏の催しを楽しめたらと思います。(Y)

関西医科大学広報 Vol.70

発行 学校法人 関西医科大学
編集 広報戦略室
〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)
FAX 072-804-2638

<https://www.kmu.ac.jp/>
E-mail:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

令和7年8月18日(月)発行